

佐渡市広報広聴に関するアンケート・  
デジタル化に関するアンケート  
結果報告書

令和5年2月

企画財政部総合政策課広報戦略室  
総務部総務課デジタル政策室

## アンケート概要

### 1 目的

市政に対する課題等に応える体制を確立するため、広報・広聴活動及び地域や行政のデジタル化に関して目指すべき方向性について市民の意見を聴取し、今後の広報広聴活動及びデジタル化推進の参考にするために実施しました。

### 2 実施概要

(1)実施期間 令和4年10月18日 ~ 令和4年11月18日

(2)実施方法 郵送及びwebアンケートフォーム

(3)対象者数 無作為に抽出した市民1,000人(令和4年9月1日現在、市内在住18歳以上)

(4)回答者数 334人(33.4%)

### 3 注意事項

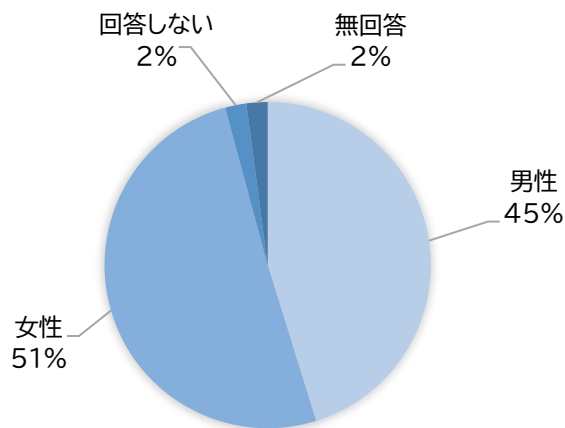
・集計結果の数値を小数点以下を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

・複数回答の項目における割合(%)については、回答数を分母として集計しています。

※【問18】の一部を除く

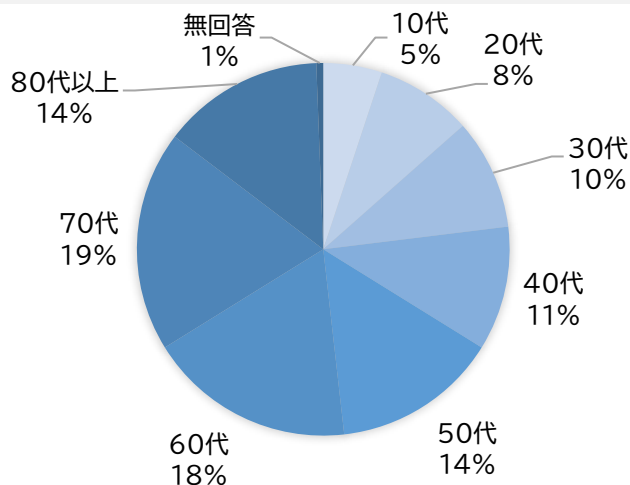
## 回答者の属性

### <性別>



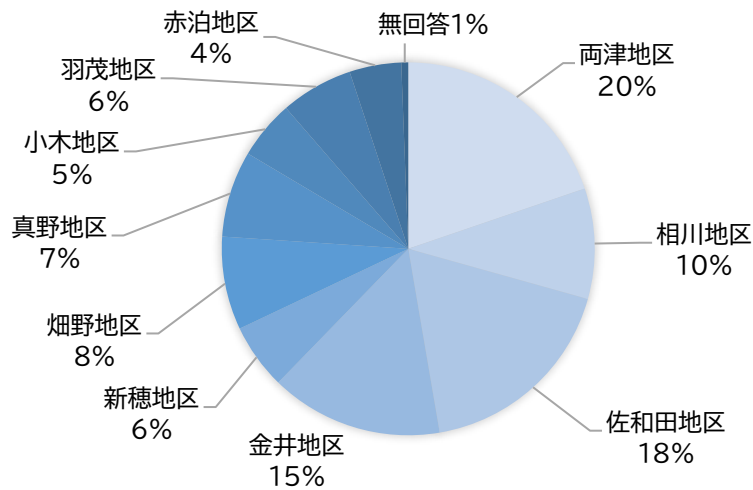
	n
男性	151
女性	169
回答しない	7
無回答	7
全体	334

### <年齢>



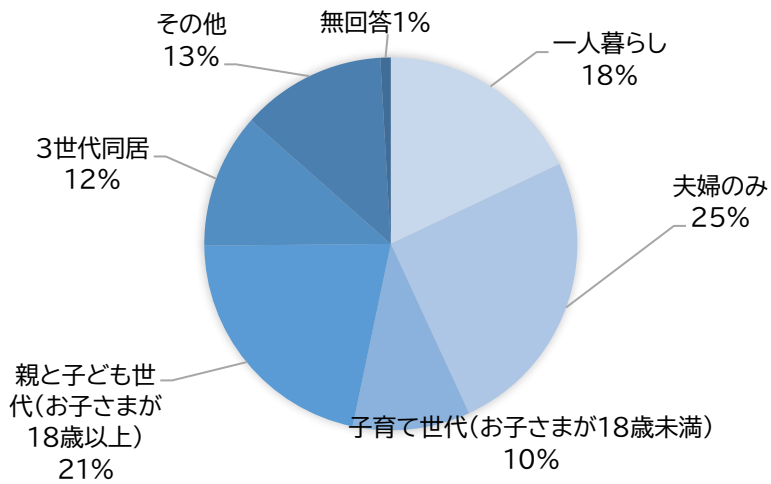
	n
10代	17
20代	28
30代	32
40代	36
50代	48
60代	60
70代	64
80代以上	47
無回答	2
全体	334

### <お住いの地区>



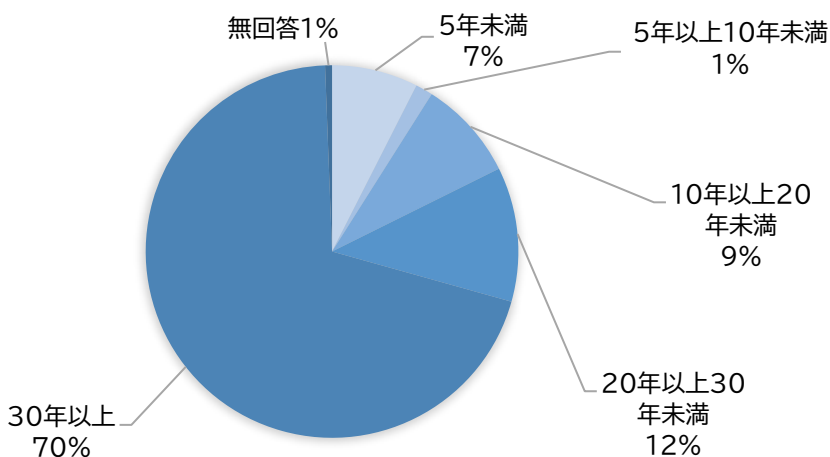
	n
両津地区	66
相川地区	32
佐和田地区	60
金井地区	50
新穂地区	19
畑野地区	27
真野地区	25
小木地区	17
羽茂地区	21
赤泊地区	15
無回答	2
全体	334

### <家族構成>



	n
一人暮らし	60
夫婦のみ	84
子育て世代(お子さまが18歳未満)	34
親と子ども世代(お子さまが18歳以上)	72
3世代同居	39
その他	42
無回答	3
全体	334

### <お住まいの年数>

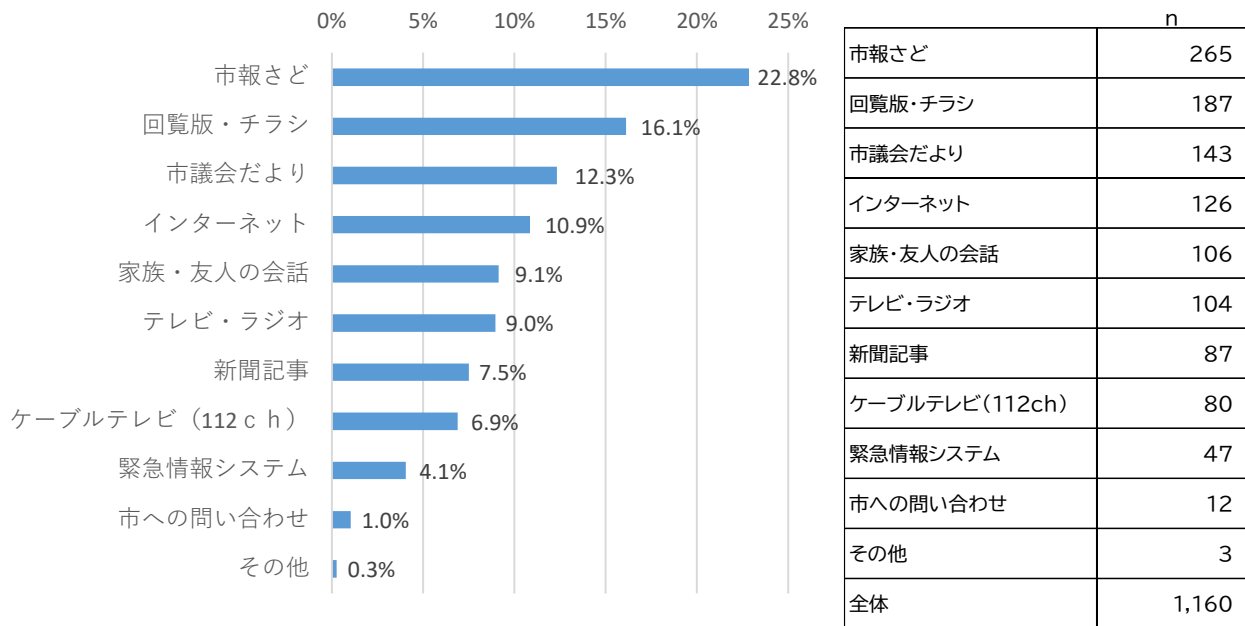


	n
5年未満	25
5年以上10年未満	5
10年以上20年未満	29
20年以上30年未満	39
30年以上	234
無回答	2
全体	334

## 【問1】佐渡市の行政情報は、どのような方法で入手していますか。(複数回答可)

行政情報の取得方法については、「市報さど」が最も多く、次いで「回覧版・チラシ」「市議会だより」「インターネット」が多くなっています。

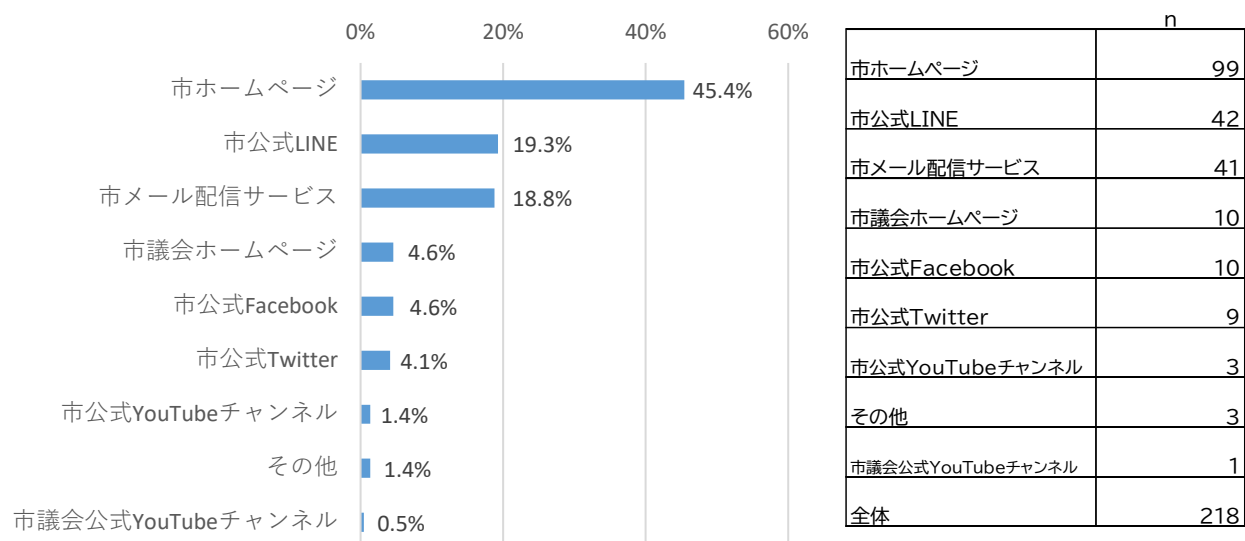
「その他」では、「情報は何もわからない」「情報は入手していない」「メール」という回答がありました。



## 【問2】【問1】でインターネットを選択した方のみ。 インターネットで行政情報を入手していますか(複数回答可)

インターネットでの行政情報の取得方法については、「市ホームページ」「市公式LINE」「市メール配信サービス」が80%以上を占めています。

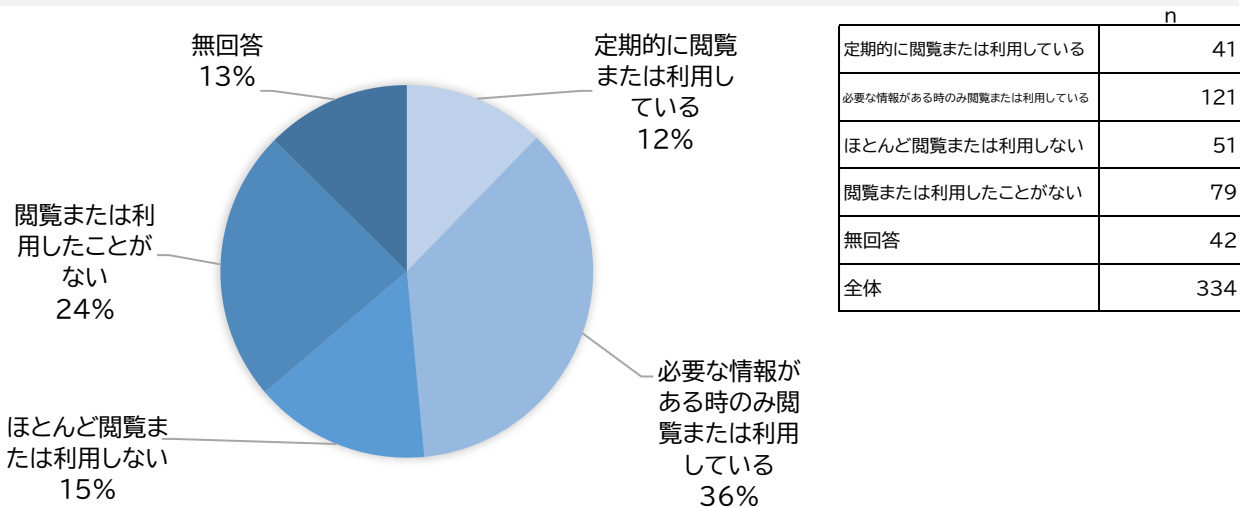
「その他」では、「Twitterで調べたいキーワード等で検索」「ネットニュース」という回答がありました。



### 【問3】市ホームページはどのくらいの頻度で閲覧または利用していますか。

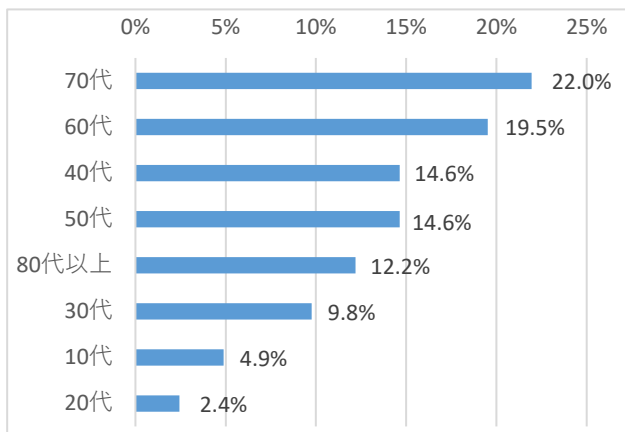
市ホームページの閲覧頻度について、「必要な情報がある時のみ閲覧または利用している」が最も多いことから、情報提供側も、市民のニーズにあった適切な情報提供に努める必要があります。

世帯別の状況を見ると、「定期的に閲覧または利用している」「閲覧または利用したことがない」のいずれも60～70代が多くを占め、同世代にあっても閲覧・利用状況には差があることがうかがえます。

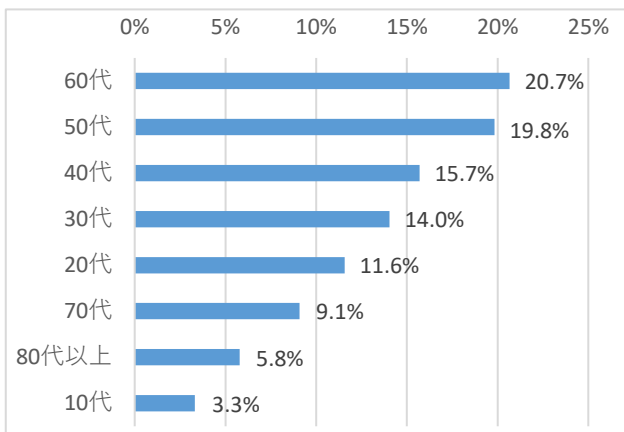


### <世代別>

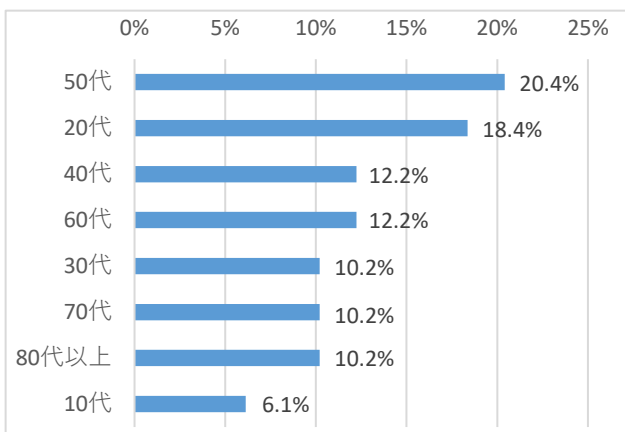
定期的に閲覧・利用している



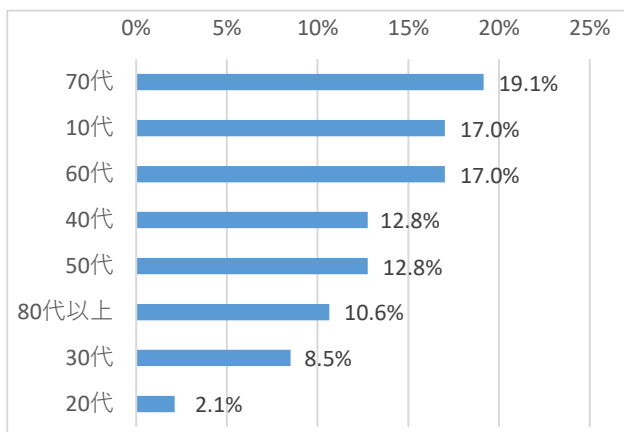
必要時に閲覧・利用している



ほとんど閲覧・利用していない

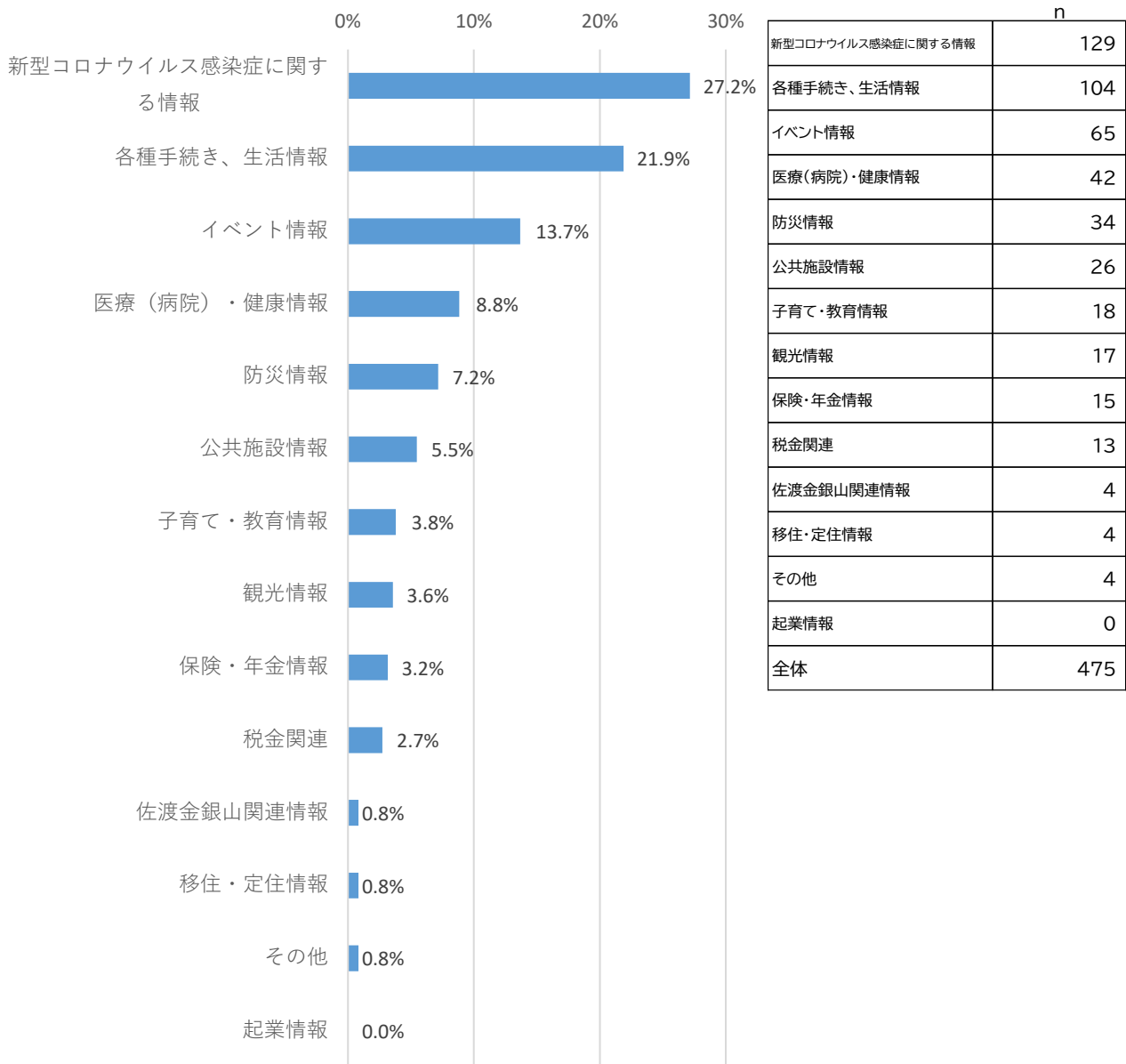


閲覧・利用したことがない



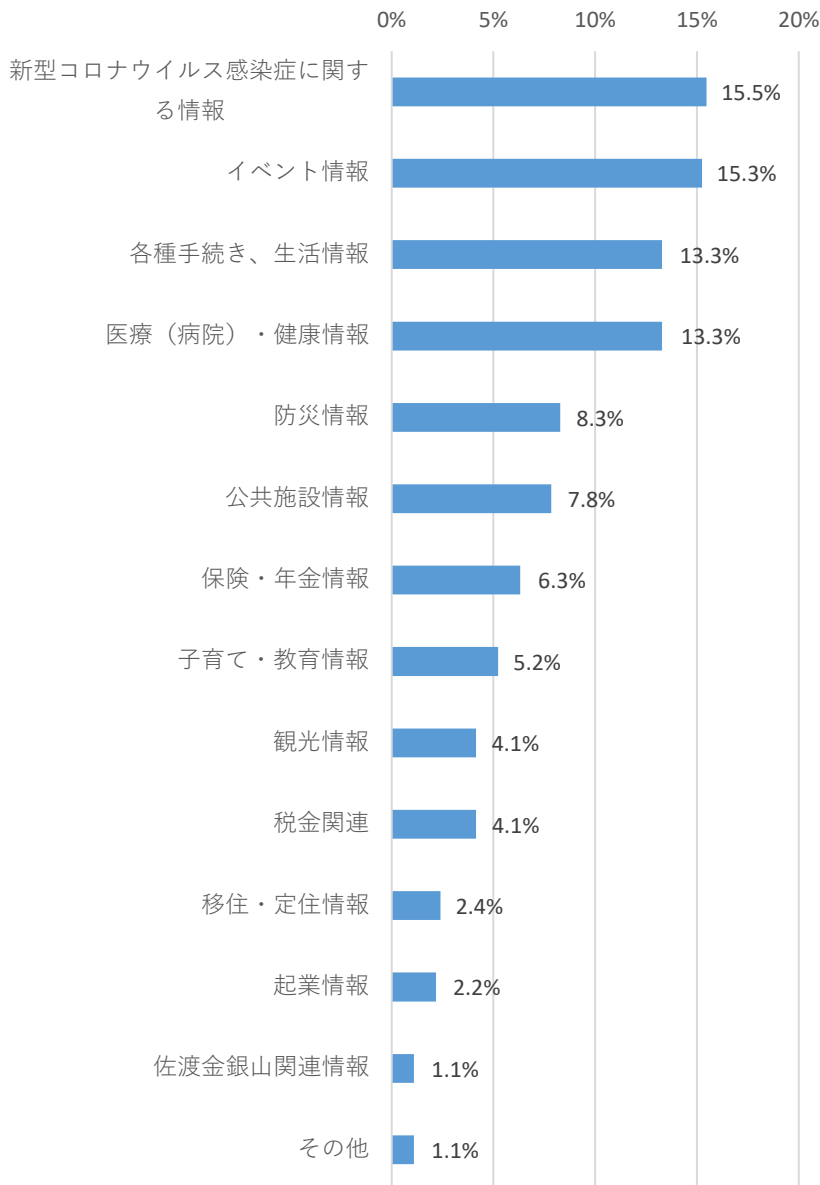
## 【問4-1】市ホームページでどのような情報を得ていますか。(回答3つまで)

市ホームページでどのような情報を得ているのかについては、「新型コロナウイルス感染症に関する情報」が最も多く、次いで「各種手続き、生活情報」「イベント情報」が続いていることから、日常の生活に係る直近の情報が求められていることがうかがえます。



## 【問4-2】市ホームページでどんな情報を充実してほしいと思いますか。(回答3つまで)

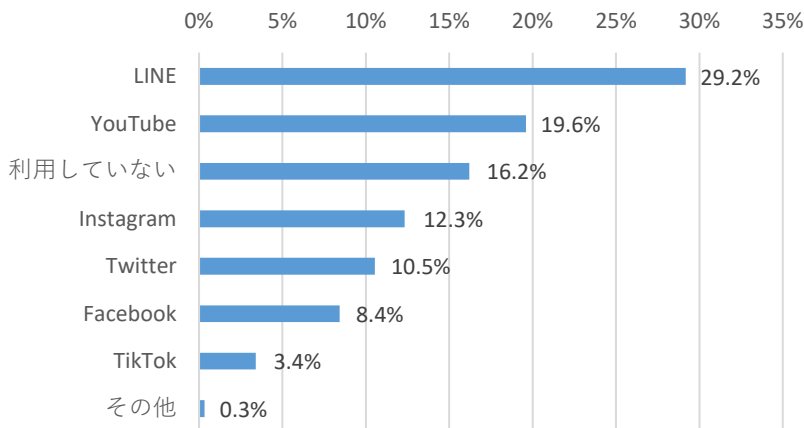
市ホームページで充実してほしい情報については、「新型コロナウイルス感染症に関する情報」「イベント情報」「各種手続き、生活情報」「医療(病院)、健康情報」が全体の約6割を占め、【問4-1】と同様、日常生活におけるタイムリーな情報提供を求められていることがわかります。



	n
新型コロナウイルス感染症に関する情報	71
イベント情報	70
各種手続き、生活情報	61
医療(病院)・健康情報	61
防災情報	38
公共施設情報	36
保険・年金情報	29
子育て・教育情報	24
観光情報	19
税金関連	19
移住・定住情報	11
起業情報	10
佐渡金銀山関連情報	5
その他	5
全体	459

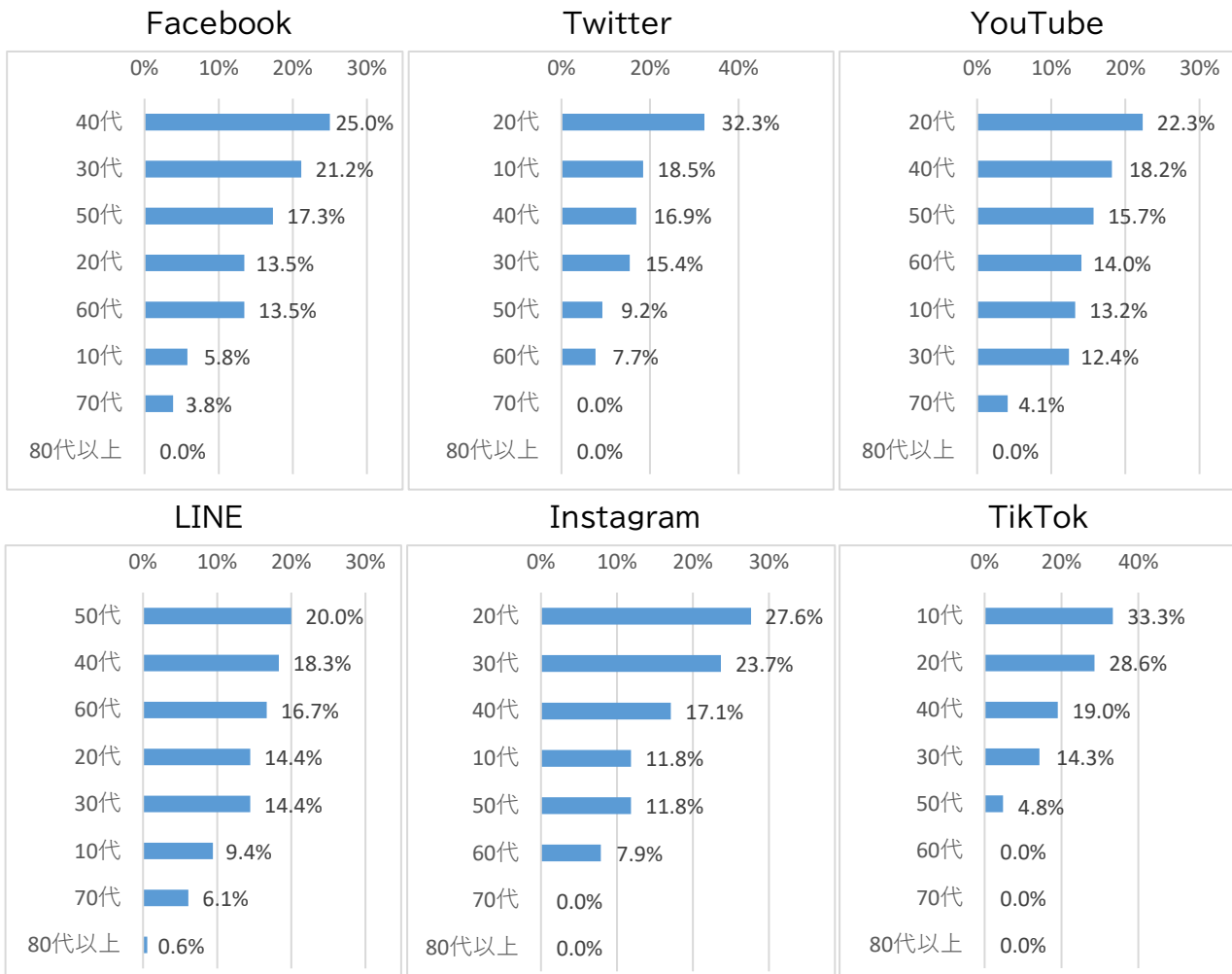
## 【問5】現在利用しているSNSはなんですか。(複数回答可)

現在利用しているSNSについては、回答者の約30%がLINEを利用しています。  
 世代別でみると、Facebookは30代以上、Twitterは10～20代の利用者が多くなっている一方、LINEは唯一すべての世代において利用されており、世代に関係なくSNSツールとして認識されていることがわかります。  
 「その他」では、「佐渡市メール」「プラスメール」「mixi」という回答がありました。



	n
LINE	180
YouTube	121
利用していない	100
Instagram	76
Twitter	65
Facebook	52
TikTok	21
その他	2
全体	617

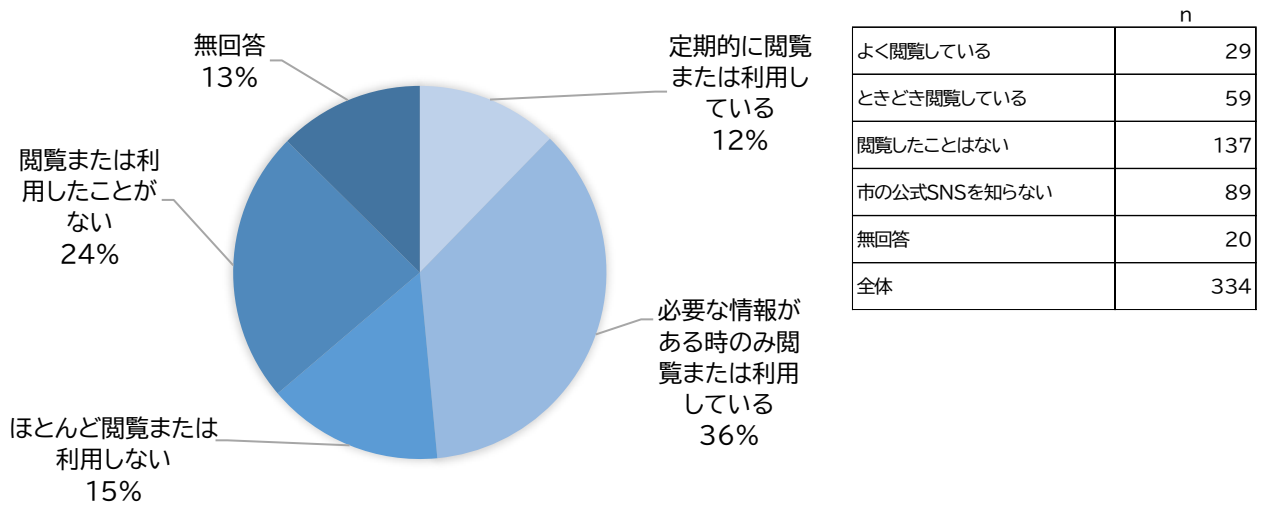
### <世代別>





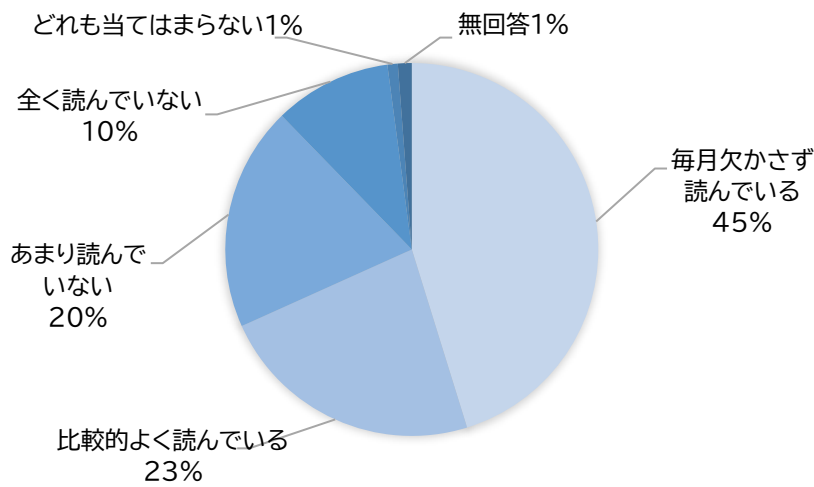
## 【問6】市のSNSを閲覧したことはありますか。

佐渡市の公式SNSで発信する市政情報の閲覧状況については、「よく閲覧している」「ときどき閲覧している」がわずか27%であるのに対し、「市の公式SNSを知らない」「閲覧したことがない」という回答が67%にのびりました。



**【問7】「市報さど」をどの程度ご覧になっていますか。**

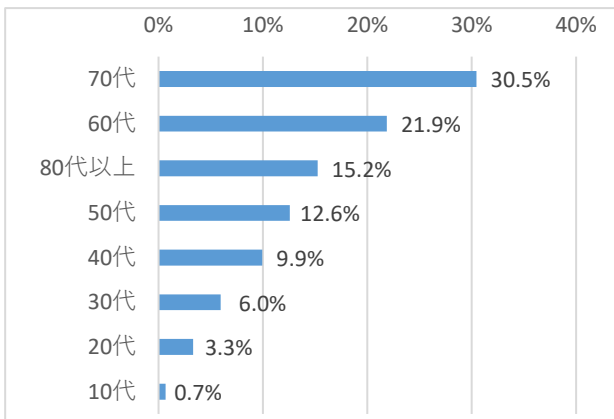
市報さどの閲覧頻度については、「毎月欠かさず読んでいる」「比較的読んでいる」が68%でした。世代別でみると、「毎月読む」「比較的読む」は40～80代の中高年層に多く、「あまり読んでいない」「全く読んでいない」は10～30代の若年層に多い傾向がうかがえます。



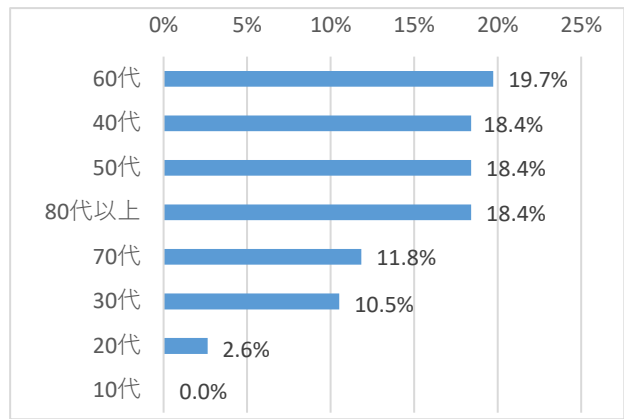
	n
毎月欠かさず読んでいる	151
比較的よく読んでいる	77
あまり読んでいない	65
全く読んでいない	34
どれも当てはまらない	3
無回答	4
全体	334

**<世代別>**

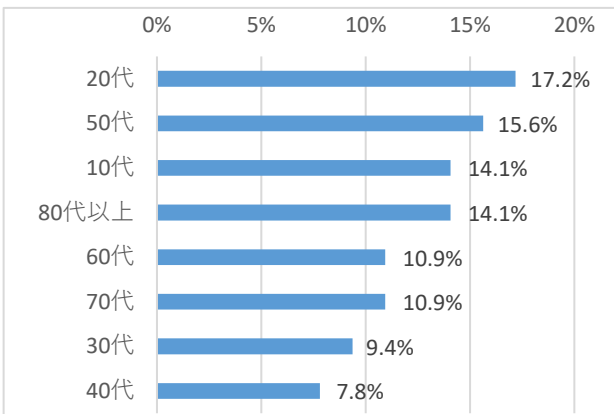
毎月欠かさず読んでいる



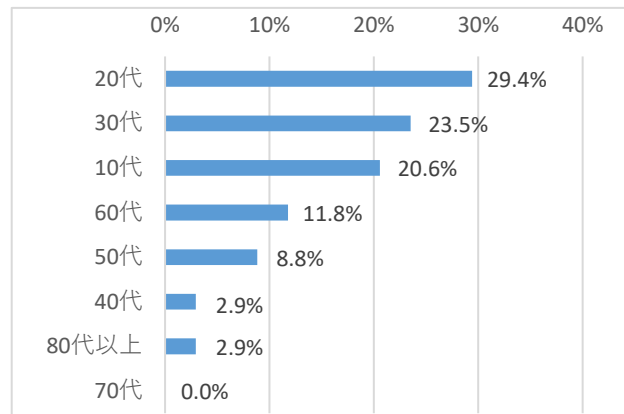
比較的よく読んでいる



あまり読んでいない

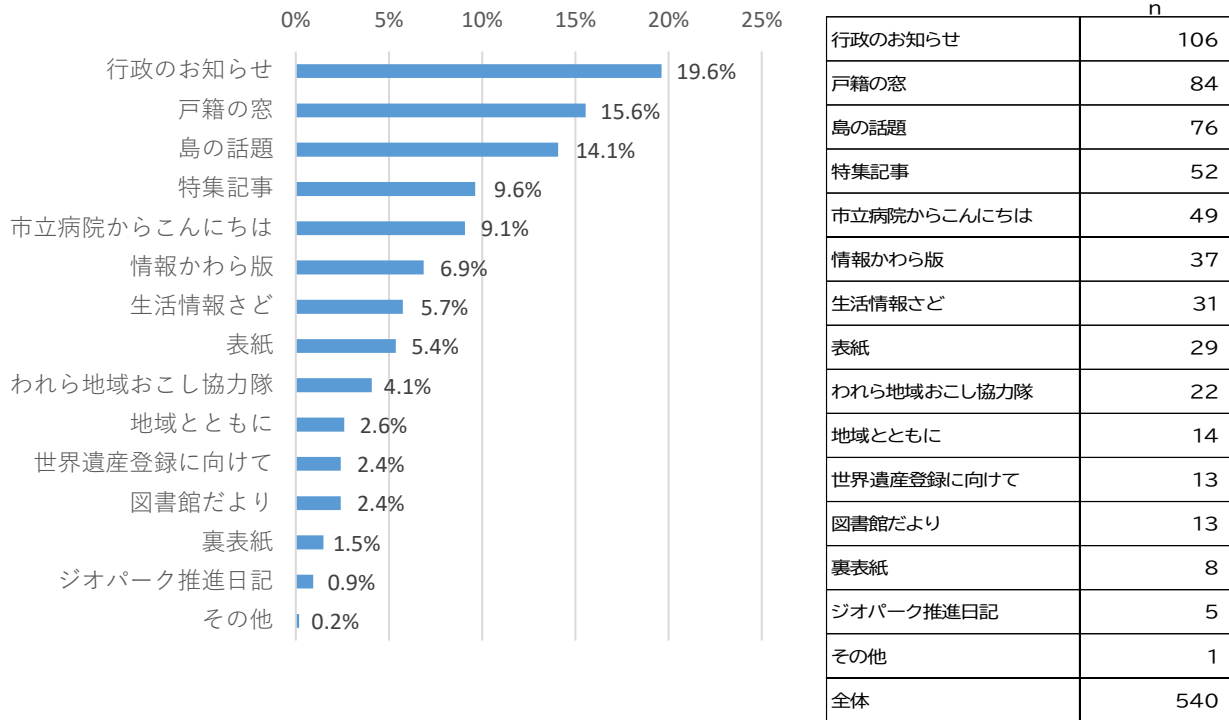


全く読んでいない



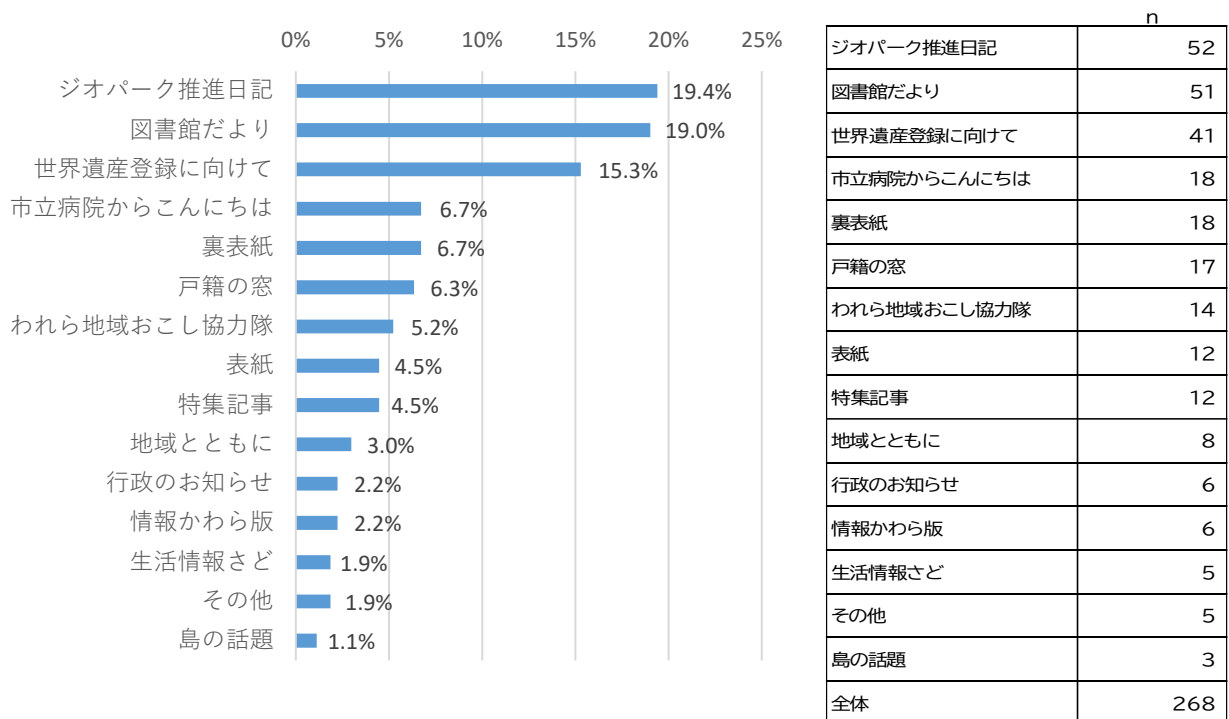
### 【問8-1】「市報さど」でよく読む内容は何ですか。(回答3つまで)

市報さどでよく読む内容については、「行政のお知らせ」「戸籍の窓」「島の話題」を含め、日常生活に身近な情報が多く読まれています。  
「その他」では、「見たことがない」「ほとんどすべて読んでいない」「全般に読んでいる」という回答がありました。



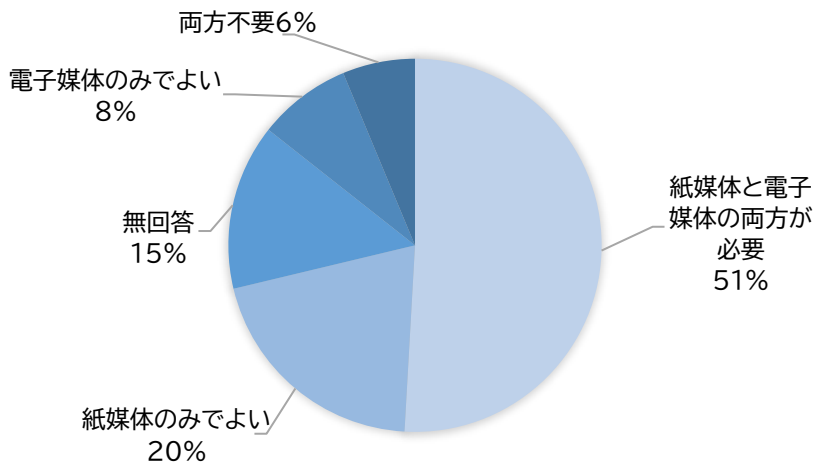
### 【問8-2】「市報さど」でほとんど読まない内容は何ですか。(回答3つまで)

市報さどでほとんど読まない内容については、「ジオパーク推進日記」「図書館だより」「世界遺産登録に向けて」が多くなっています。



**【問9】「市報さど」は、電子媒体として閲覧可能ですが、紙媒体による広報の必要性はどのようにお考えですか。**

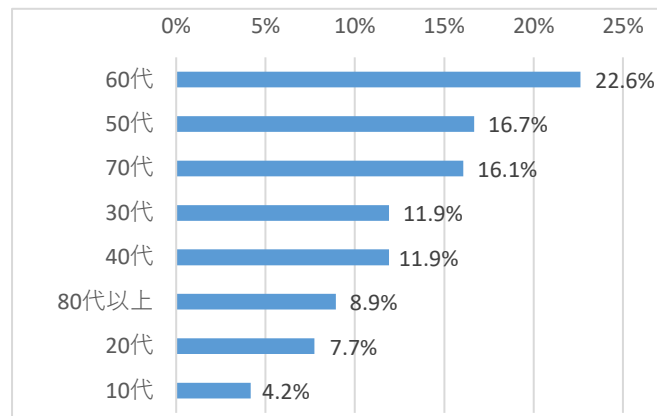
電子媒体と紙媒体の必要性については、「紙媒体と電子媒体の両方が必要」という回答が最も多く、全体の50%を超え、次いで「紙媒体のみ」が多くなっています。  
 世代別でみると、「紙媒体のみ」は60～80代の高年層、「電子媒体のみ」は10～30代の若年層に多い傾向です。



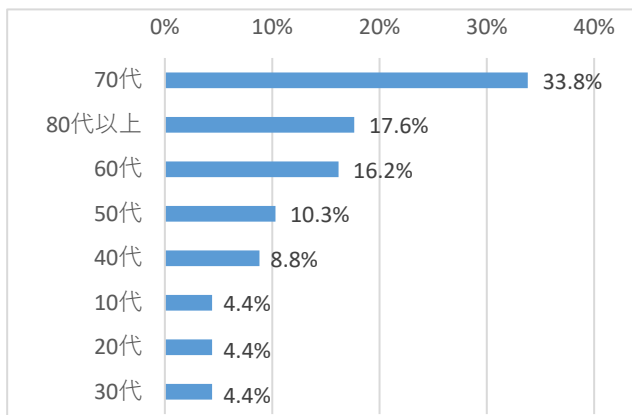
	n
紙媒体と電子媒体の両方が必要	170
紙媒体のみでよい	68
無回答	48
電子媒体のみでよい	27
両方不要	21
全体	334

**<世代別>**

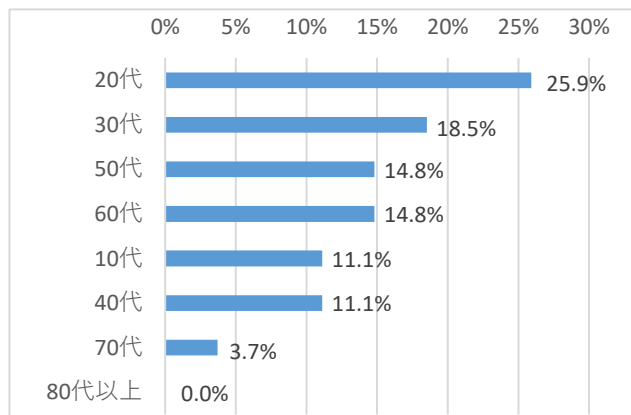
紙媒体と電子媒体の両方が必要



紙媒体のみでよい



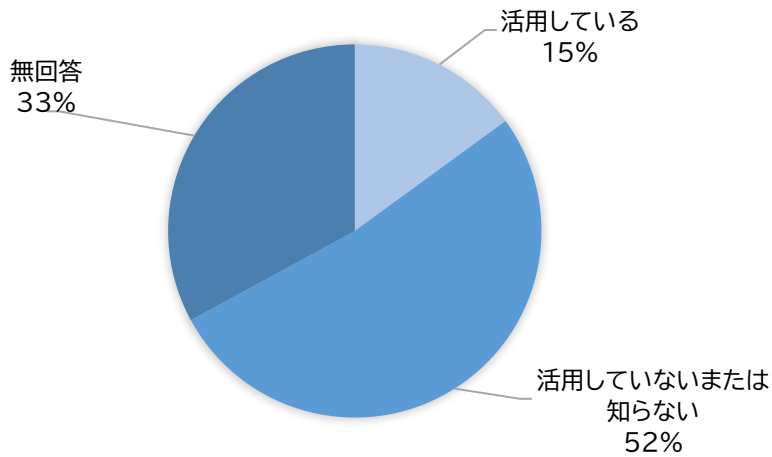
電子媒体のみでよい



**【問10】「市報さど」に挟み込んである「行事予定」の活用の有無や必要性はどのようにお考えですか。**

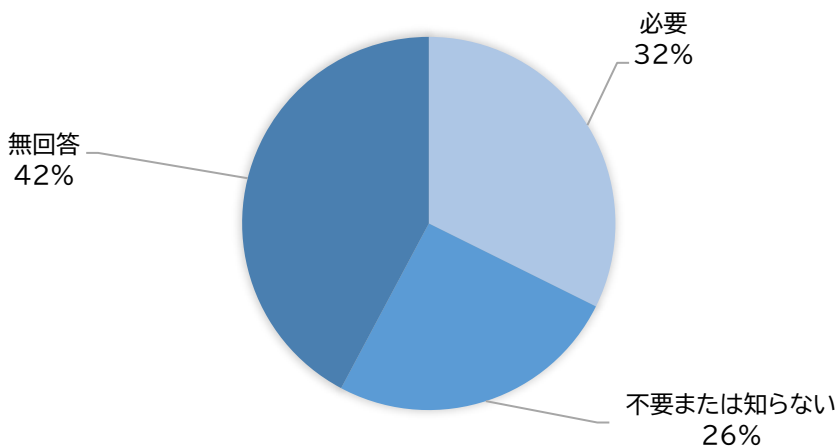
行事予定の活用については、「活用していないまたは知らない」が最も多く50%を超えました。  
 行事予定の必要性については「必要」が「不要」を上回っています。

**<行事予定の活用>**



	n
活用している	50
活用していないまたは知らない	174
無回答	110
全体	334

**<行事予定の必要性>**



	n
必要	108
不必要または知らない	85
無回答	141
全体	334

【問11】市が発信する行政情報、サービスについて何かありましたら、自由にお書きください。(自由記載)

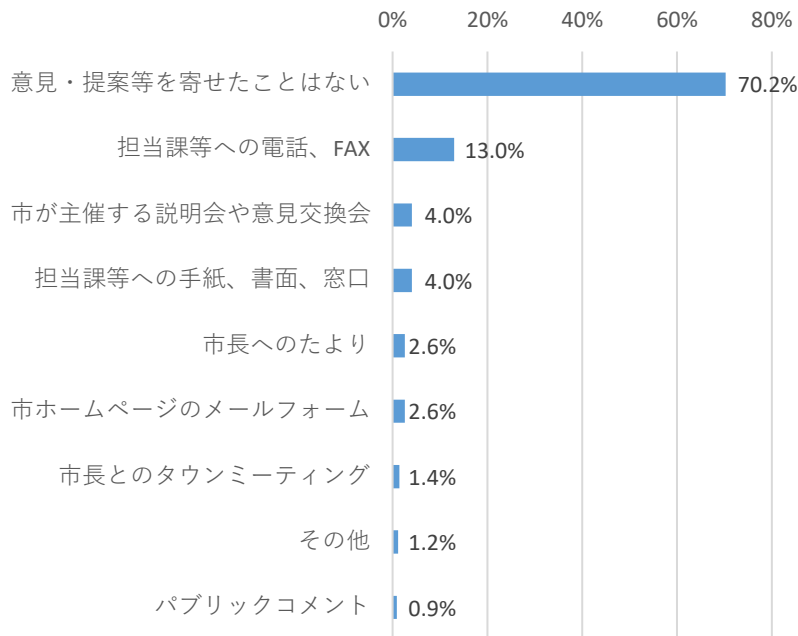
- 本当にサービスをするなら、何にも情報を得られない人達に手を差しのべる事も必要だろう。
- 高齢者への重要なお知らせは、ケーブルテレビ、緊急情報システムを使うのがよいと思う。広報紙は配布が遅い時がある。
- 新型コロナウイルス感染症の佐渡市内の年代別感染者数、病床使用率はどのようになっているのか。
- 新両津病院建設の進捗情報はどのようになっているのか。
- 佐渡市は「健康寿命日本一」を目指しているが、具体的な事も発信していただきたい。
- ここ数年発行されている「プレミアム商品券」はとてもありがたい。加盟店が多く、ガソリン、日用品、食材等、何にでも利用でき便利である。WEBから申請できるところもたいへん便利で、ぜひ継続していただきたい。
- 紙媒体の広報・チラシはこの時代にそぐわないし資源の無駄。ケーブルテレビも不要。スマートフォンで手軽に情報にアクセスできる時代であり、行政の広報もそれに合わせて実施されたい。欲しい情報はキャッチしに行く時代である。HPをもっとわかりやすく充実させるべき。
- 体育館を使用する際、HPの情報量の少なさに驚かされた。キャンプ場も然り。何でもかんでも電話で問い合わせなければならないシステムはとても不便である。せめて体育館であれば施設の紹介ページの写真を増やすなどしていただきたい。
- 子どもが少ない(出生率も低い)のは、佐渡市で子育てをしたいと思う若い世代が少ないからだと思う。もっと子育てがしなくなる、楽しめるような取組をわかりやすく発信していただきたい。
- 佐渡市独自の施策をわかりやすく発信していただきたい。共働き夫婦が働きやすい環境の構築を望む。休みにくい、申請しても休ませてくれない職場があるようである。子どもは邪魔者ではない。
- 広報紙などの配布物や回覧板は情報を得るまでに日数を要するため、イベントの申込が終了している事がある。LINEで配信してくれるようになってからはイベントに参加できるようになり助かっている。
- コロナワクチンの接種やインフルエンザの予防接種など、民間の診療所では早々にLINE予約に対応してくれた。電話予約も必要だが、コロナワクチンの予約の時はインターネットも電話も繋がりにくくたいへん不便であった。民間で実施しているよいシステムを見習っていただきたい。
- 「市報さど」の表紙の次ページに掲載の内容のレベルが中・高校生程度で低すぎる。新採用職員の紹介や女性の雇用状況よりも、市の施策や企業に呼びかける取組など、もっと島にとっての重要事項や明るい話題を提供いただきたい。他自治体の例を大いに参考し改善いただきたい。また、小さな文字は高齢者では読めない人が多い。
- このアンケートを紙媒体で送付することが経費の無駄ではないか。まずはSNSを活用して実施し、回答の少ない年代のみ紙媒体を送付という形式でもよかったのではないか。
- カラーページがありとても見やすい。高齢者には文字が大きいと見やすくありがたい。
- 中途半端な情報が多い。途中でページが無くなったりしてイライラする。
- IT関係にばかり補助金を出してるように思える。癒着があるのではとってしまう。
- イベントなどのお知らせ発信は、佐渡市主催のものだけでなく、共催や後援のイベントも公式アカウントで広報いただき、リンクやリツイートで紹介いただきたい。
- 広報誌は毎月届きますが、HPから閲覧しているので不要と思う。

※ 自由記載のご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。

**【問12】市へご意見・ご提案をお寄せいただく場合、どのような方法でお寄せいただいていますか。(複数回答可)**

市へのご意見・ご提案については、「意見・提案等を寄せたことはない」が7割を占め、次いで「担当課への電話等」が多い結果でした。

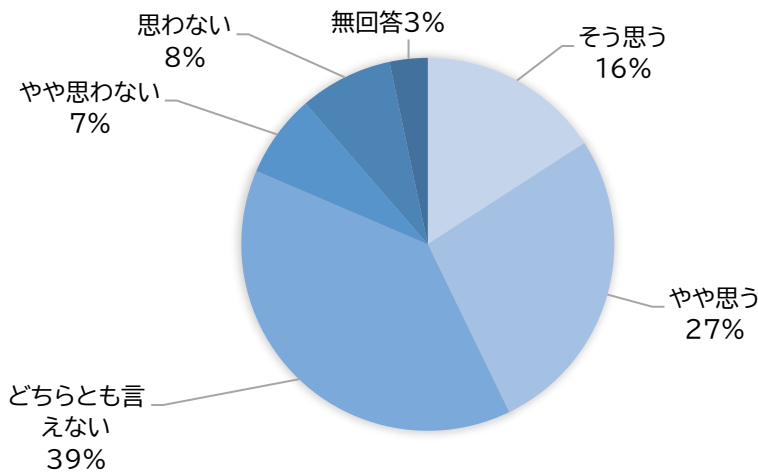
「その他」としては、「電話をしてもいいかげんな回答だった」「アンケート用紙が届いたときしか意見を言っていない」「通報窓口があるとよい」といった回答がありました。



	n
意見・提案等を寄せたことはない	243
担当課等への電話、FAX	45
市が主催する説明会や意見交換会	14
担当課等への手紙、書面、窓口	14
市長へのたより	9
市ホームページのメールフォーム	9
市長とのタウンミーティング	5
その他	4
パブリックコメント	3
全体	346

## 【問13】市の広報活動は、十分な情報提供ができていますか。

市の広報活動は十分な情報提供ができていないかについては、「そう思う」「やや思う」が約43%、「どちらとも言えない」が約39%、「やや思わない」「思わない」が約15%となっています。



	n
そう思う	53
やや思う	90
どちらとも言えない	129
やや思わない	24
思わない	27
無回答	11
全体	334

### <主な理由(自由記載)※一部抜粋>

#### 【そう思う・やや思う理由】

- 毎月の「市報さど」の配布や市公式LINE等で十分な情報提供をしている。
- 広報紙、ケーブルテレビ、SNS等いろいろな発信をしているので、見る側も自分にあった方法で受け取れる。
- プレミアム商品券の申し込みに間に合った。佐渡市で紙媒体で配布しなければ情報取得できなかったと思う。
- Facebookなどでよく佐渡市の活動の様子を拝見している。いつも楽しみにしている。
- 市報さどの内容が以前より読みやすくなった。  
緊急情報システムにより、新型コロナウイルス感染症等の内容が発信されている。

#### 【やや思わない・思わない理由】

- 調べないとわからないことが多い。
- SNSを活用できている人とできていない人の情報格差が大きいと感じる。  
イベント情報などは市民の口コミで広まる事が多い気がする。イベントに参加しない人も多く、もったいないと思う。
- 市民が求める情報は千差万別なのでどんな自治体でも十分な情報提供は難しいと思う。
- 市のHPなどで掲載されている情報が少し見づらいつと感じる。
- 広報紙は高齢者には必要だと思うが、小さく書かれてある文字は読みづらくわかりづらいようである。  
届出等、本当に重要なお知らせは大きい文字で掲載いただきたい。
- 自分が興味を持っていないこともあるが、全く情報が入ってこない。

#### 【どちらとも言えない理由】

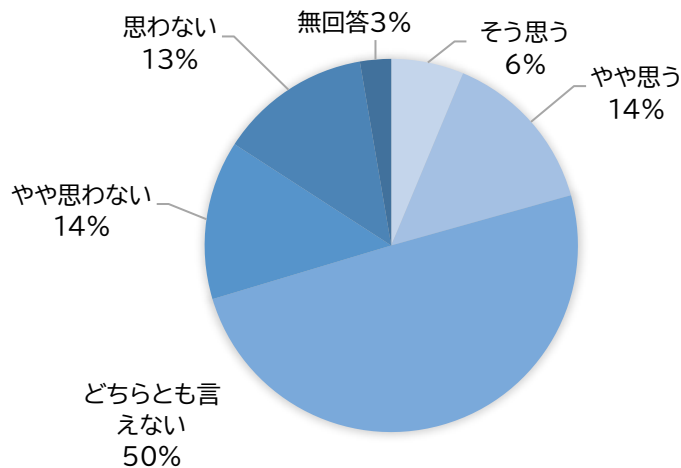
- 公式LINEに登録しているが配信の数が多すぎてブロックしたくなる。TPOをわきまえていただきたい。  
何時でも配信すればよいというものでもないのではないか。  
自分にとっては8割は不要な情報である。
- 読む読まないは人それぞれである。

※ 自由記載のご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。



## 【問14】市の行政活動は、市民の皆さまのご意見を聞く機会が充実していると思いますか。

市の行政活動は市民の皆さまのご意見を聞く機会が充実しているかについては、「どちらとも言えない」が50%を占め、次いで「やや思わない」「思わない」が27%。「そう思う」「やや思う」は20%にとどまっています。



	n
そう思う	21
やや思う	48
どちらとも言えない	166
やや思わない	46
思わない	44
無回答	9
全体	334

### <主な理由(自由記載)※一部抜粋>

#### 【そう思う・やや思う理由】

- いろいろな機会を作っていると思う。
- 市HPホームページなどで意見を伝えることができる。
- コミュニティが狭いため、話や噂が伝わりやすいように思う。
- このようなアンケートやSNSなどによる意見の発信が可能である。

#### 【やや思わない・思わない理由】

- そもそも意見を聞く機会があることを知らないため。
- 障害を持っており、社会との関わりがなく、別居している家族からの情報しかないため意見そのものがない。
- 何をやっているのか知らないため。
- 何となく意見・提案が言いづらい。気軽に言える雰囲気ではない。職員に気軽に話しかけられない。
- コメント・意見をこのアンケートのほかにもあまり目にする機会がないため。

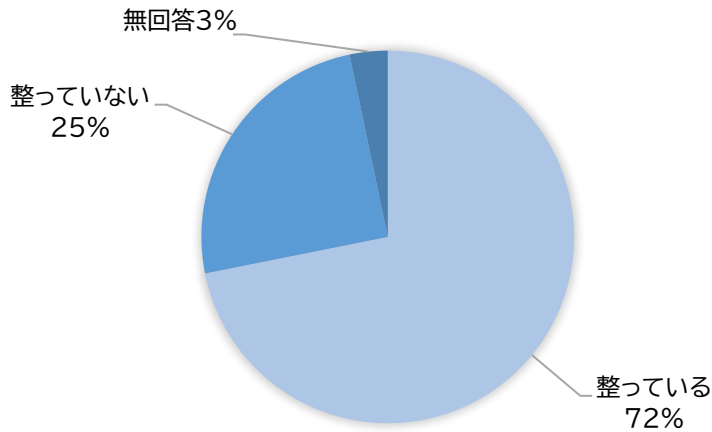
#### 【どちらとも言えない理由】

- 自身が意見を言ったことがないため。
- 例えば学校統合にむけての説明会など、平日の夜7時くらいに開催されたかと思うが、仕事・家事などで時間に追われ、参加の意志があっても参加できない。  
特に核家族で未就学児がいる場合は参加できなかったことがない。機会はあっても充実していない。
- タウンミーティングは緊張して参加することができない。  
もう少し気軽に市民同士でも話し合える場があったら教えていただきたい。
- あまり関心がないので詳しい内容がわからない。

※ 自由記載のご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。

**【問15】インターネット環境は整っていますか。  
(PCやスマートフォンなどの機器で、インターネットに接続し、閲覧できる環境)**

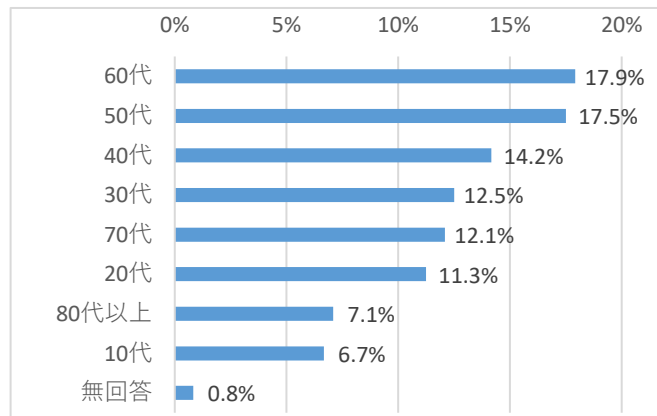
インターネット環境については、「整っている」割合は約72%にのぼり、「整っていない」割合は約25%でした。世代別にみると、「整っていない」世代は、60～80代以上の高年層に多くなっています。また、家族構成別にみると、「夫婦のみ」「一人暮らし」において「整っていない」との回答割合が高くなっていることから、高齢者夫婦や高齢者の一人暮らしにおいてインターネット環境が整っていない現状がうかがわれます。



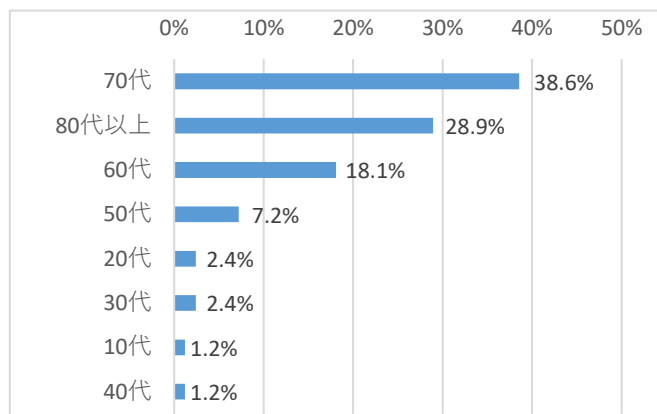
	n
整っている	240
整っていない	83
無回答	11
全体	334

**<世代別>**

整っている

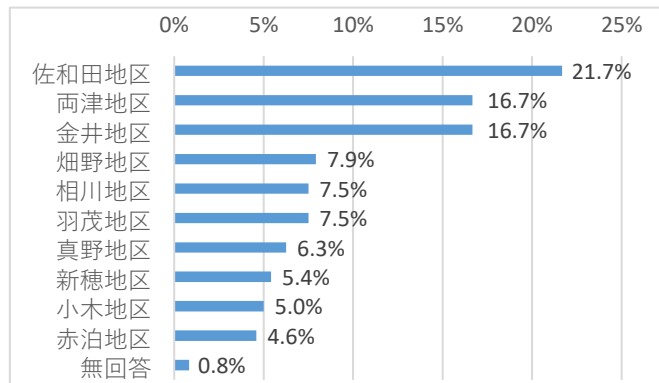


整っていない

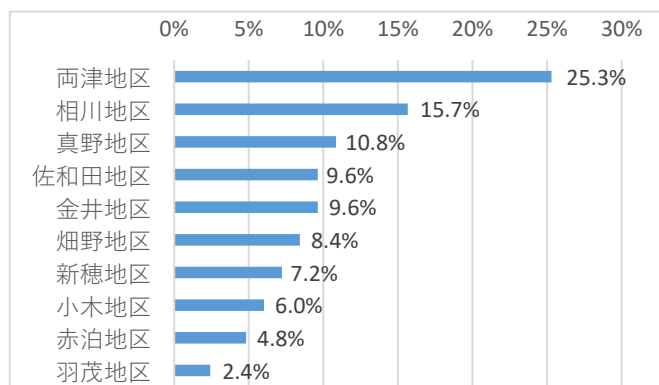


## <地区別>

### 整っている

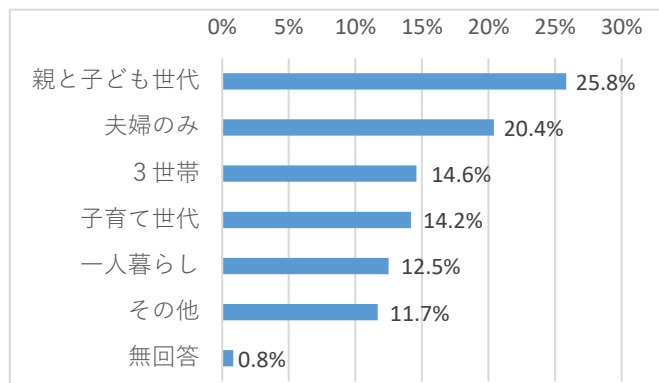


### 整っていない

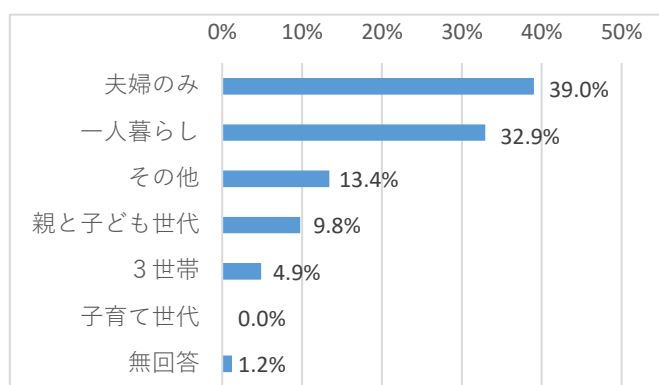


## <家族構成別>

### 整っている

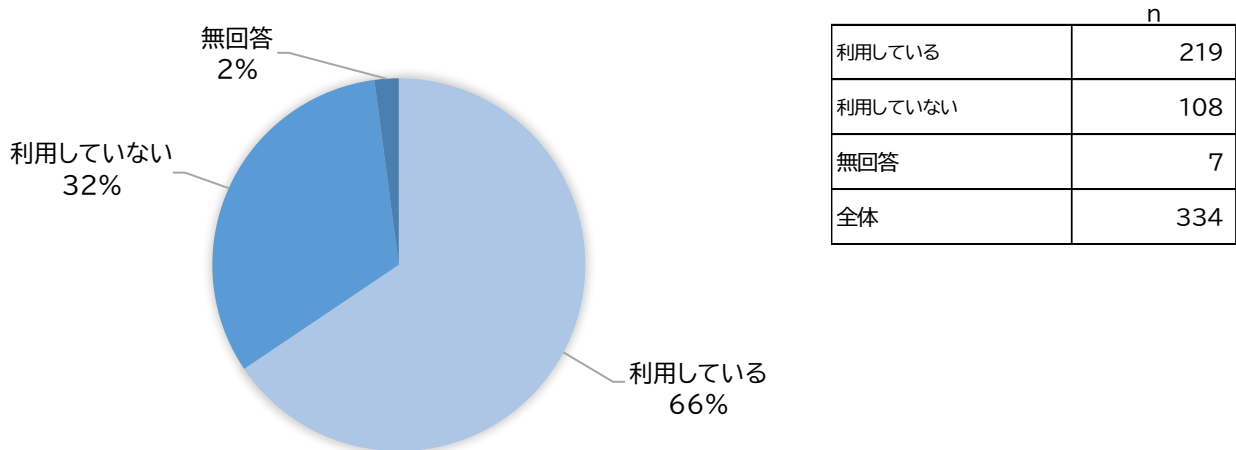


### 整っていない



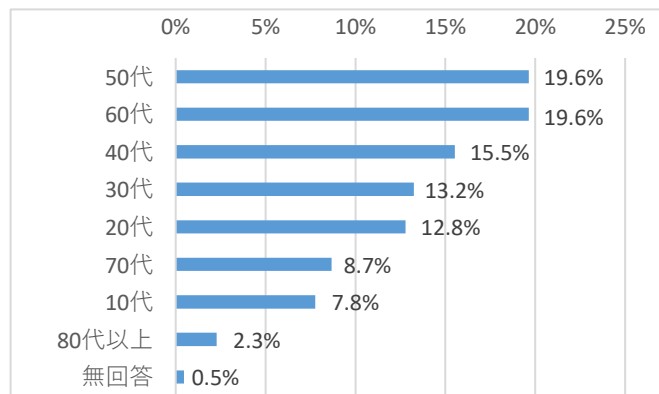
## 【問16】インターネットを利用していますか。

インターネットの利用については、「利用している」の割合は約66%で、「利用していない」の割合は約32%でした。世代別にみると、70～80代以上の高年層において「利用していない」との回答が多く、家族構成別と合せてみると、インターネットを利用していないのは、「一人暮らし」「夫婦のみ」世帯が多くなっています。

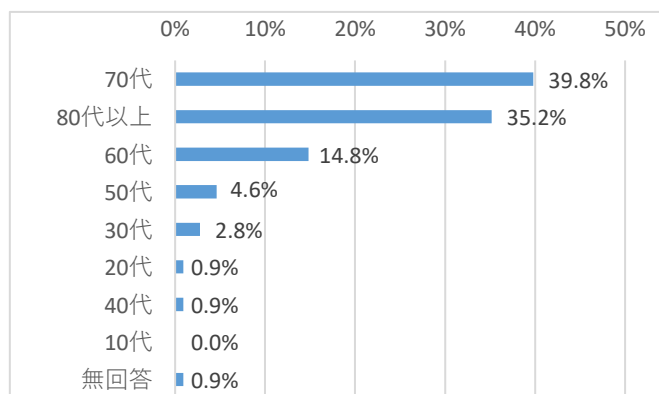


### <世代別>

「利用している」と回答した割合

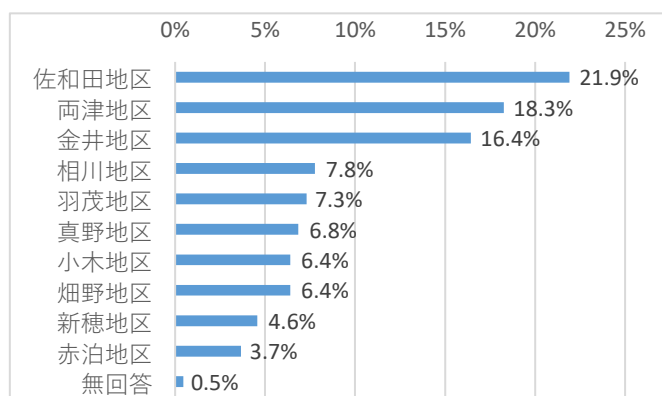


「利用していない」と回答した割合

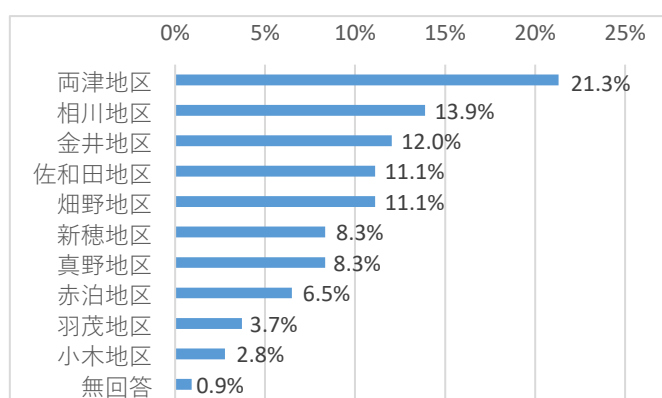


<地区別>

「利用している」と回答した割合

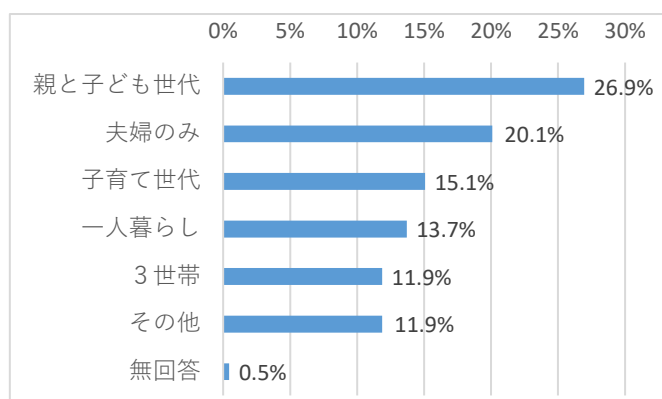


「利用していない」と回答した割合

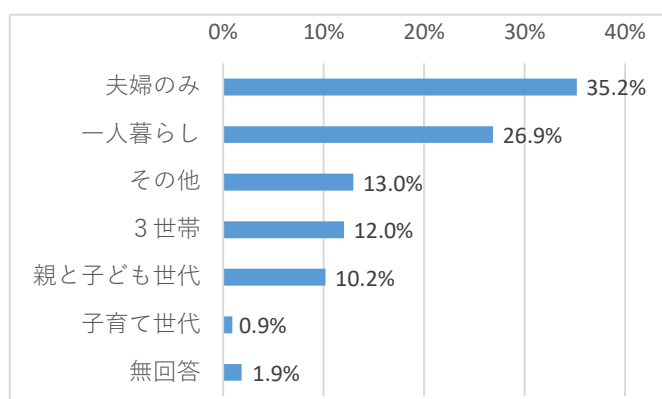


<家族構成別>

「利用している」と回答した割合

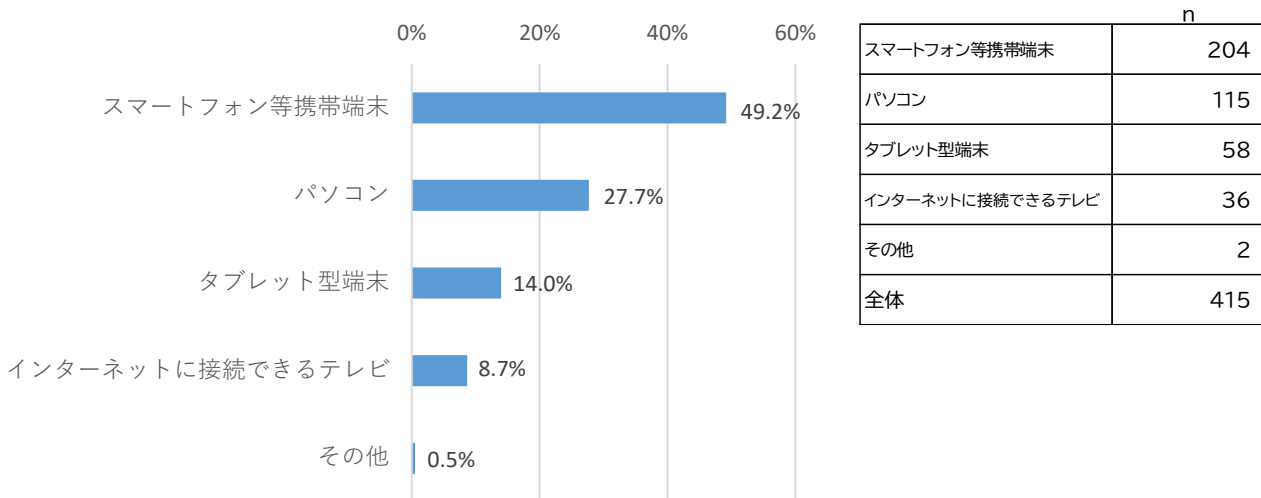


「利用していない」と回答した割合



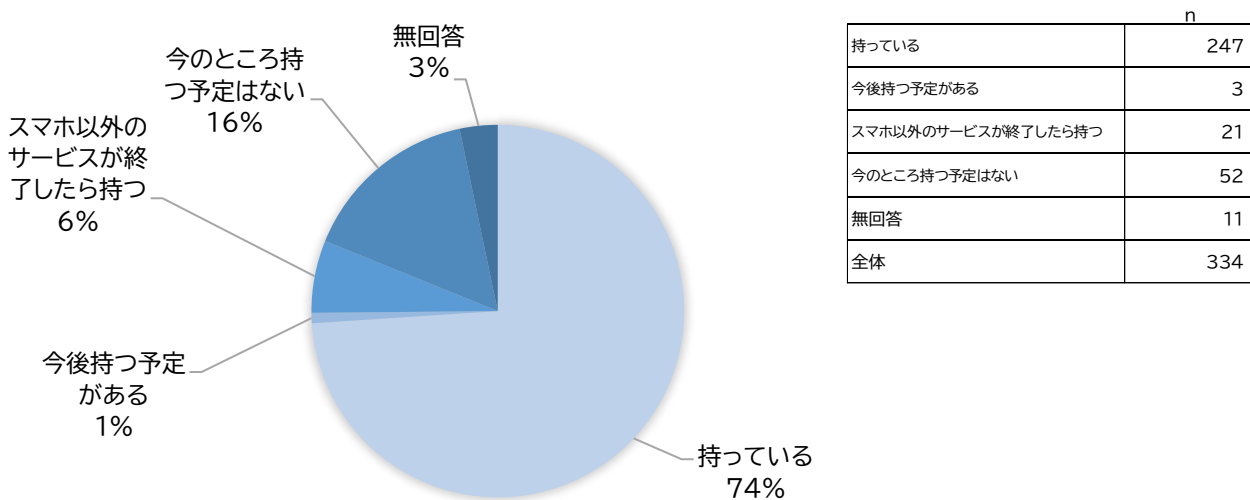
## 【問17】インターネットを利用する際、主に使用する機器は何ですか。(複数回答可)

インターネットを利用する際、主に使用する機器については、「スマートフォン等携帯端末」が最も多く約半数を占めています。このことから、インターネット利用は、時間や場所に制限されず、手軽になされていることがうかがえます。「その他」としては、「ゲーム」という回答がありました。



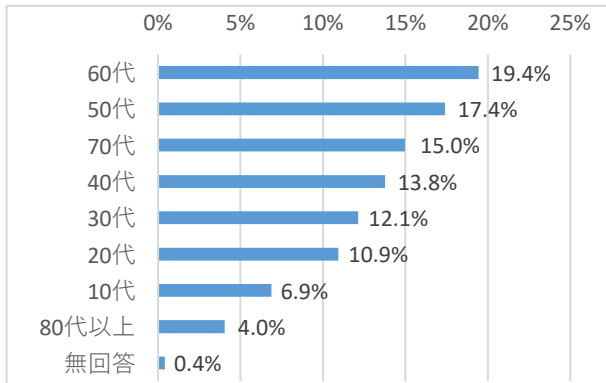
## 【問18】スマートフォンをお持ちですか。

「持っている」の割合は全体の74%で、「今後持つ予定がある」「スマホ以外のサービスが終了したら持つ」の割合を加えると、今後の佐渡市におけるスマホの保有率は80%を超えることが想定されます。

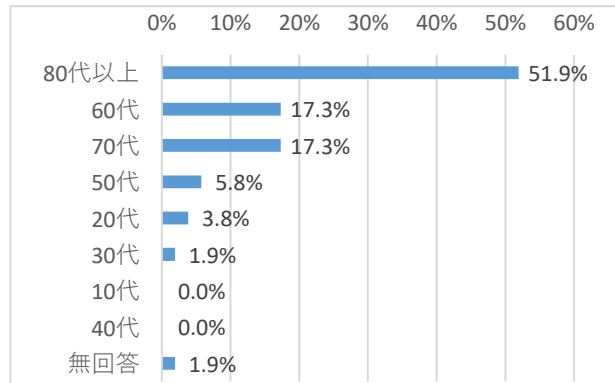


### <世代別>

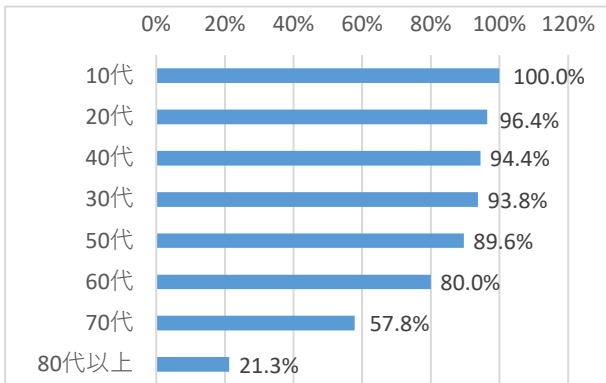
「持っている」と回答した割合



「今のところ持つ予定はない」と回答した割合

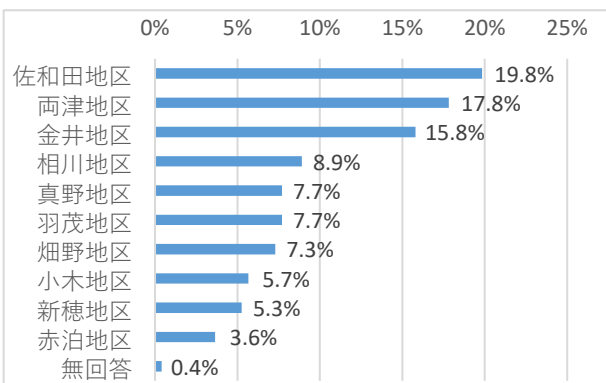


全回答者に占める「持っている」と回答した割合

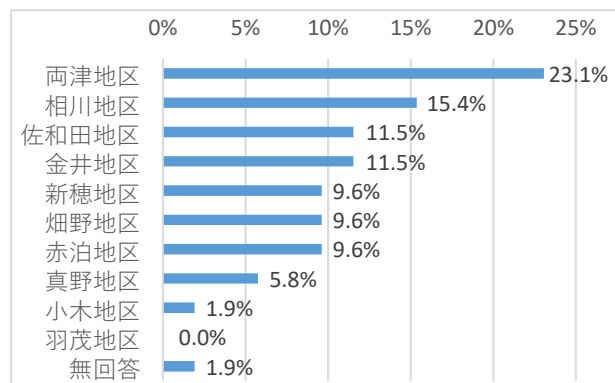


### <地区別>

「持っている」と回答した割合

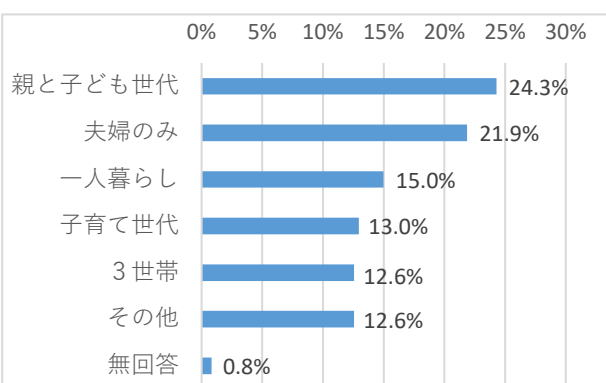


「今のところ持つ予定はない」と回答した割合

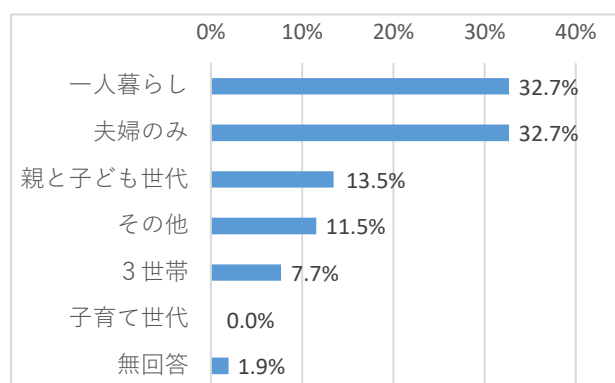


### <家族構成別>

「持っている」と回答した割合

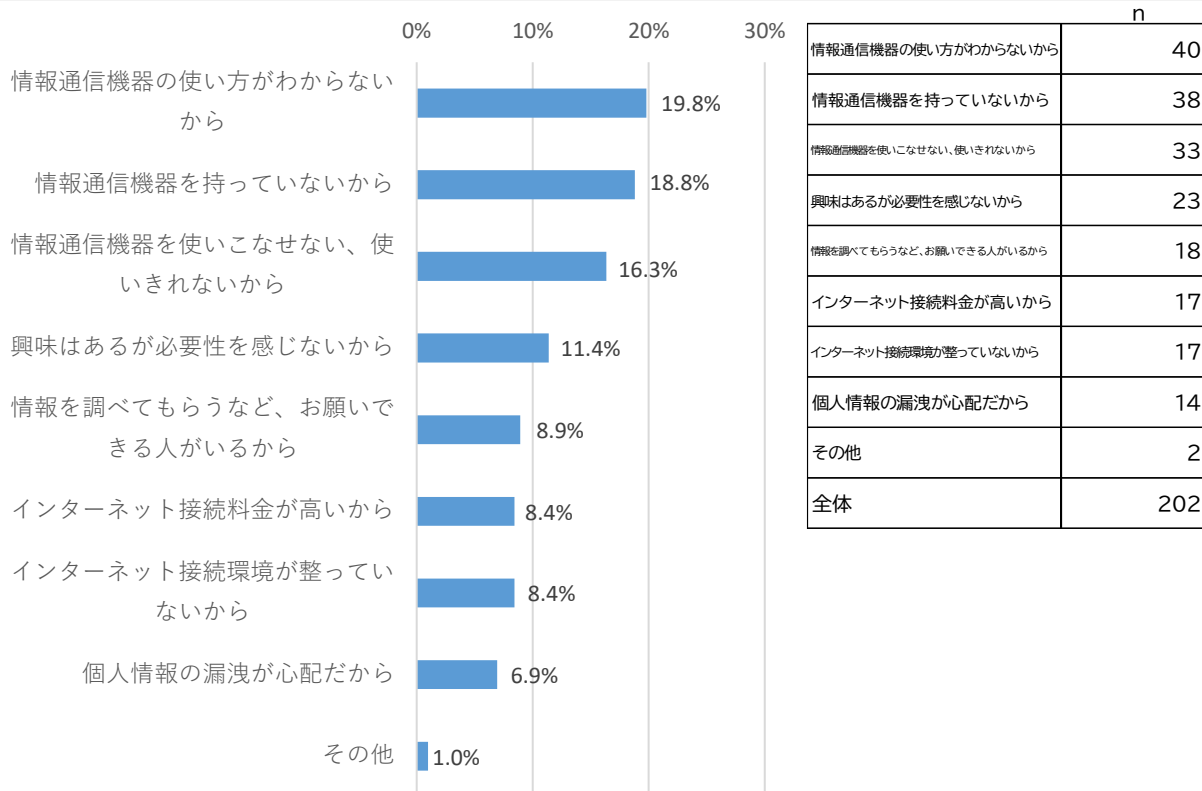


「今のところ持つ予定はない」と回答した割合



**【問19】【問16】で「インターネットを利用しない」と回答した方のみ。  
インターネットを利用しない理由は何ですか。**

インターネットを利用しない理由については、「情報通信機器の使い方がわからない」が最も多く、次いで、「情報通信機器を持っていない」「情報通信機器を使いこなせない、使いきれない」が多くなっています。「その他」としては、「視力が悪いから」「老人だから」「信用がない」といった回答がありました。



**【問20】【問16】で「インターネットを利用しない」と回答した方のみ。  
どのような環境であれば、インターネットを利用しようと思いますか。**

- インターネットを使わないと生活ができないような状況になったら考える。
- 使い方がわからないし接続もしてない。今のところ利用しない予定。
- 接続料金が安価で、困った時に使い方を聞ける人がいれば。
- 携帯電話がスマートフォンではないので、スマートフォンに変更した時。
- 図書館の本が見られるようになったら。

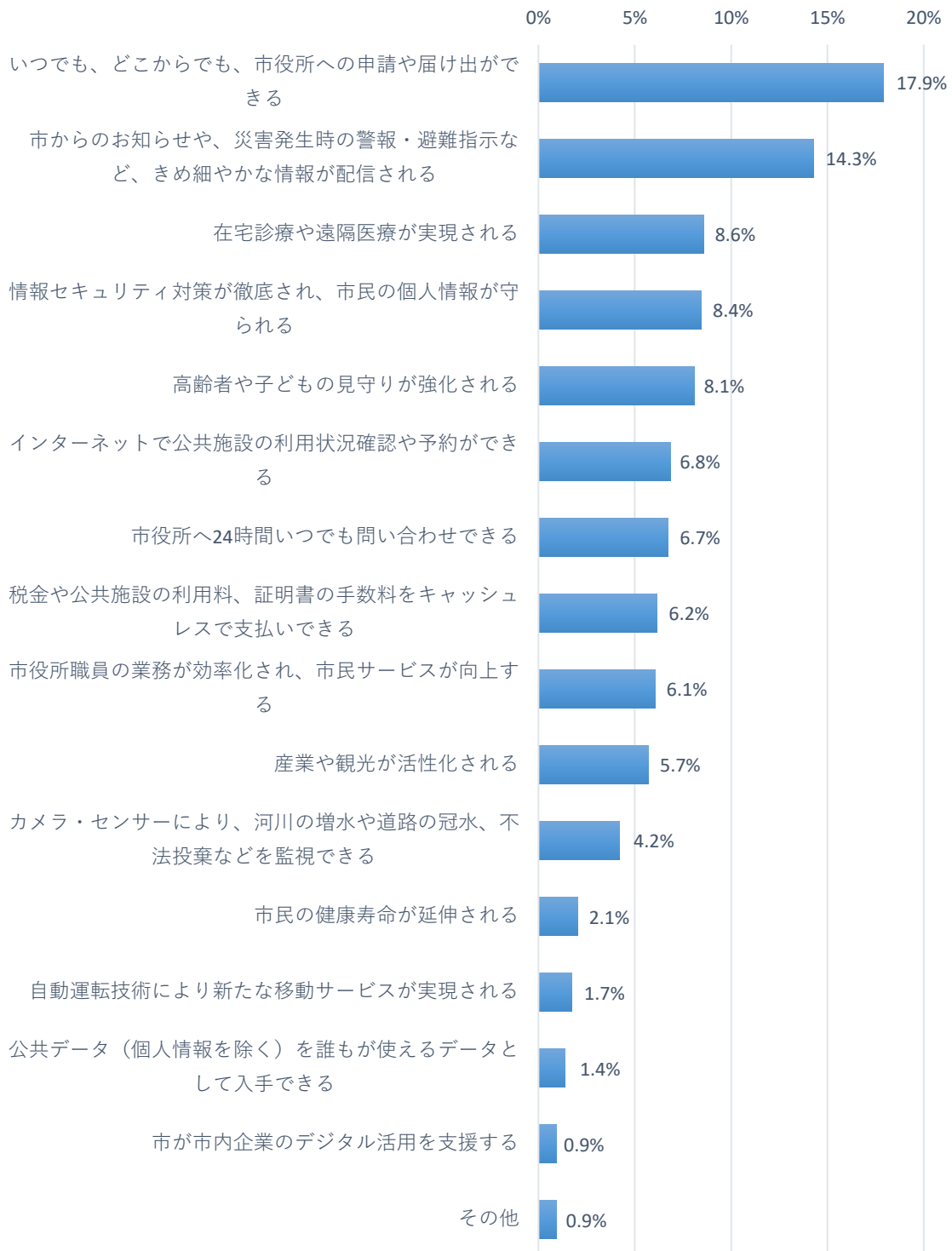
※ ご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。



**【問21】今後、市が進めるデジタル化の取組について、特に力を入れてほしいと思う取組はありますか。(回答3つまで)**

「いつでも、どこからでも、市役所への申請や届け出ができる」「市からのお知らせや、災害発生時の警報・避難指示など、きめ細やかな情報が配信される」「在宅診療や遠隔医療が実現される」といった、日常生活に身近な取組が上位を占めました。

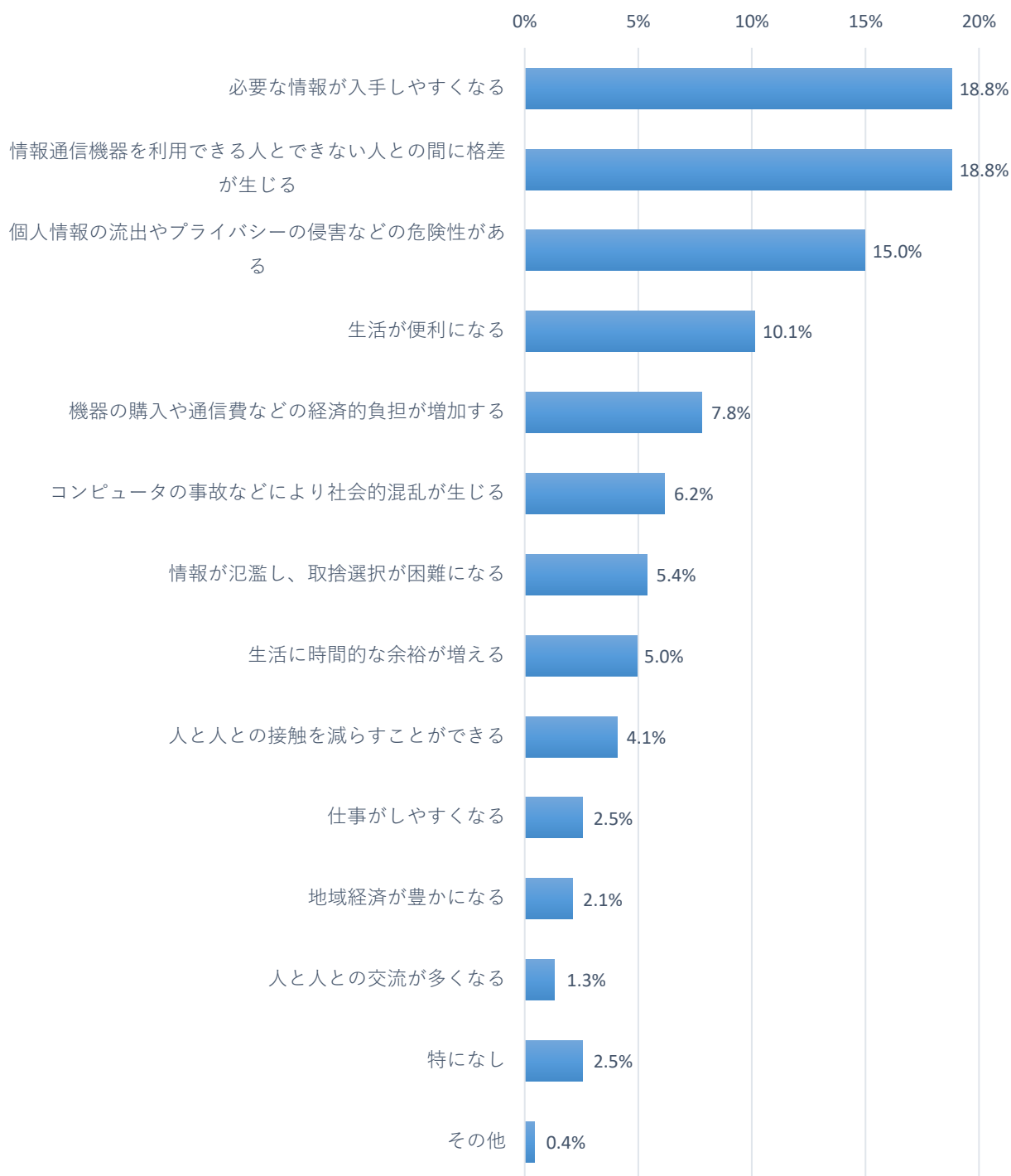
「その他」としては、「デジタル化の意味・必要性がわからない」「マイナンバーカードを証明書として利用できるようにしてほしい」「一家に一台佐渡市と応答できるタブレット」といった回答がありました。



**【問22】デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのように考えていますか。(複数回答可)**

「必要な情報が入手しやすくなる」「生活が便利になる」との回答が多い一方で、「情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じる」「個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある」という回答も多く、佐渡市がデジタル化を進めるにあたり、デメリットの解消や市民説明が重要であることがうかがえます。

「その他」としては、「デジタル化によるメリットは市民及び市役所職員にとって大きいと考えるため、積極的に取り組んでほしい」「デジタル難民が生じるのが心配」「顔を合わせる場所の減少による人への関心や、人の温もりを感じられる場所が減る」といった回答がありました。

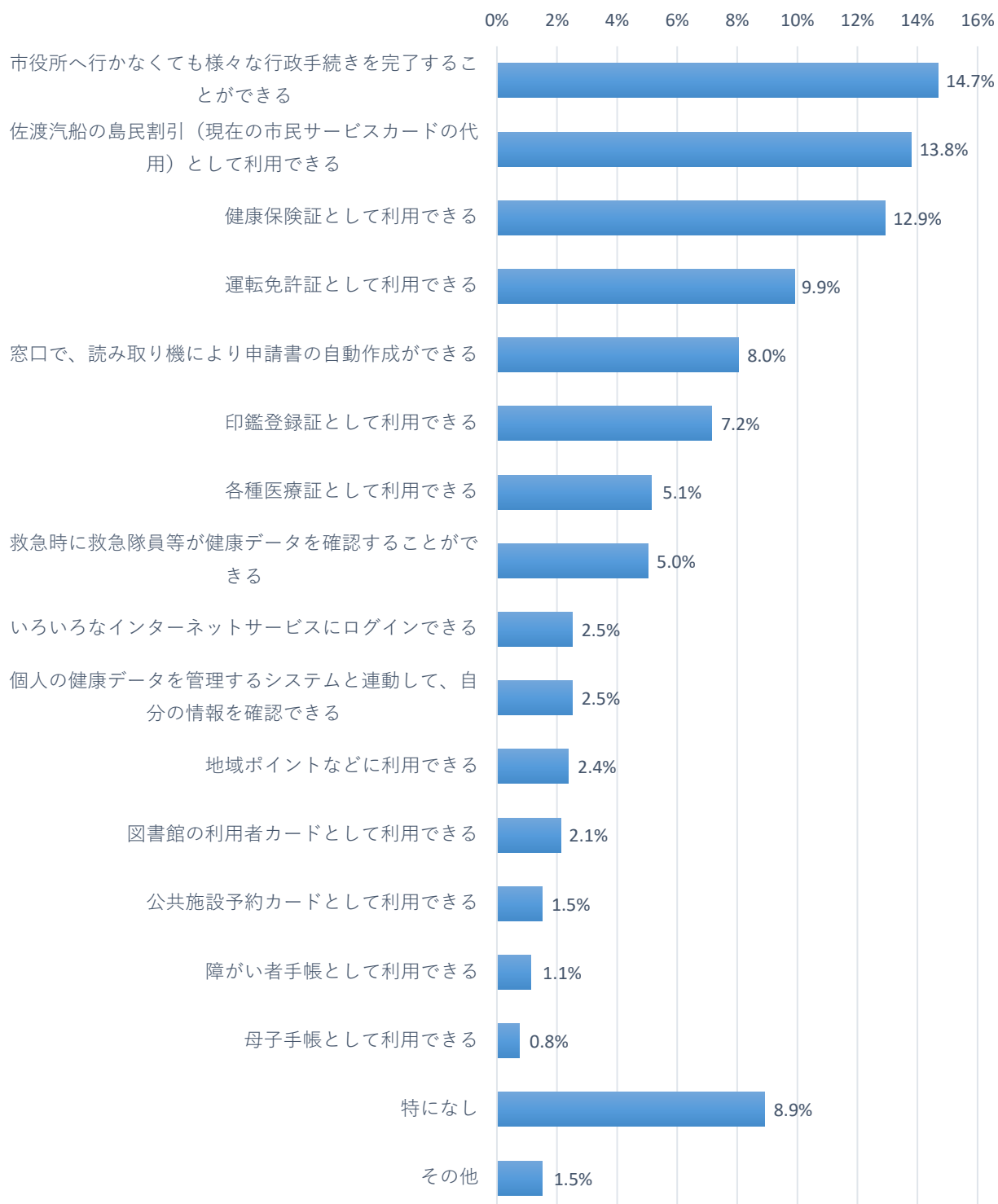


## 【問23】マイナンバーカードで何かできることに期待しますか。(複数回答可)

「市役所へ行かなくても様々な行政手続きが完了することができる」が最も多く、次いで「佐渡汽船の島民割引(現在の市民サービスカードの代用)として利用できる」「健康保険証として利用できる」が上位となっています。

「その他」としては、「預金に紐づけすることは絶対反対」「個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性が強い」「悪用されるのが怖い」といった回答がありました。

マイナンバーカードの不安要素の払拭については、丁寧な説明が急務となっています。

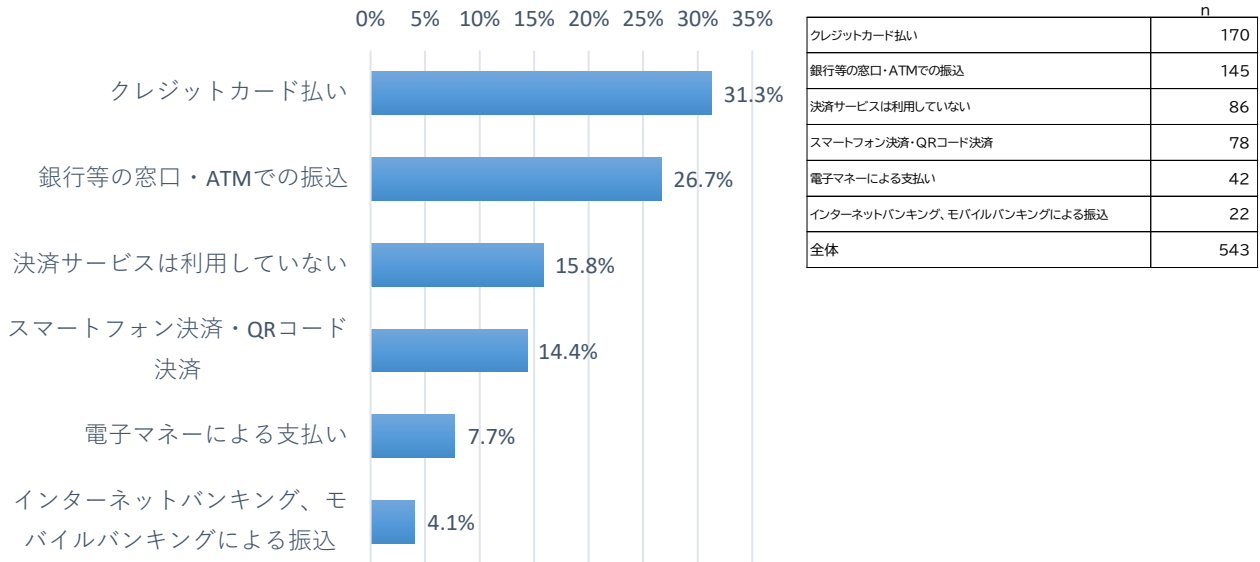


## 【問24】現在利用している決済サービスはどれですか。(複数回答可)

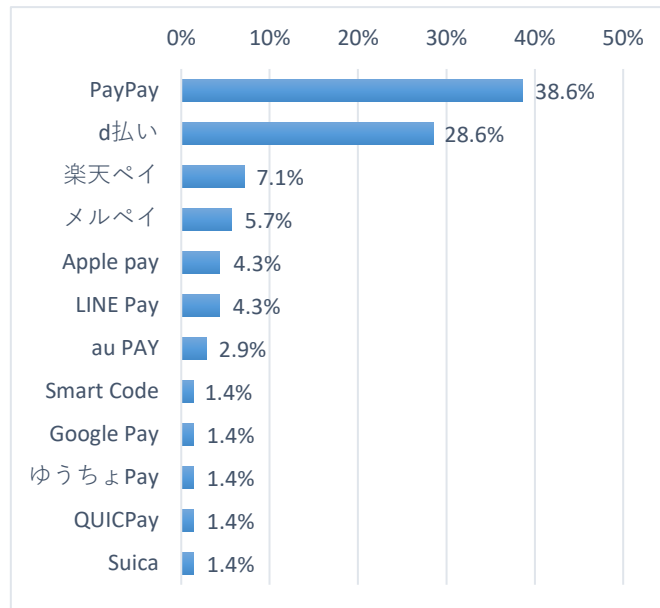
現在利用している決済サービスについては、「クレジットカード払い」が最も多く、次いで「銀行等の窓口、ATMでの振込」が多くなっています。

世代別にみると、「スマートフォン決済・QRコード決済」は20～40代が多く、「銀行等の窓口・ATMでの振込」「決済サービスは利用していない」は50～80代以上が多くなっています。

「スマートフォン決済・QRコード決済」の具体的なサービス名については、「PayPay」「d払い」が全体の半数以上を占めています。

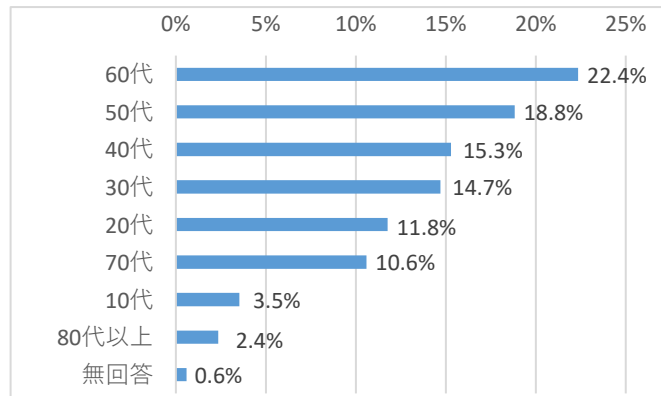


### <スマートフォン決済・QRコード決済の具体的なサービス名>

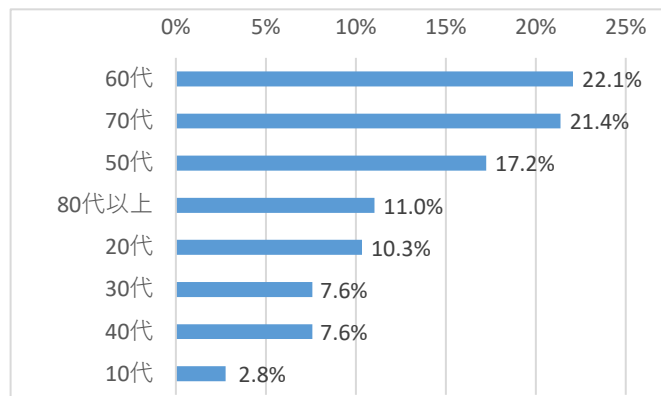


<世代別>

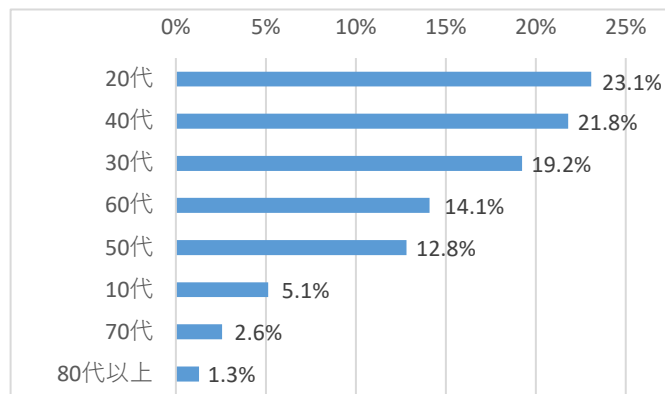
クレジットカード払い



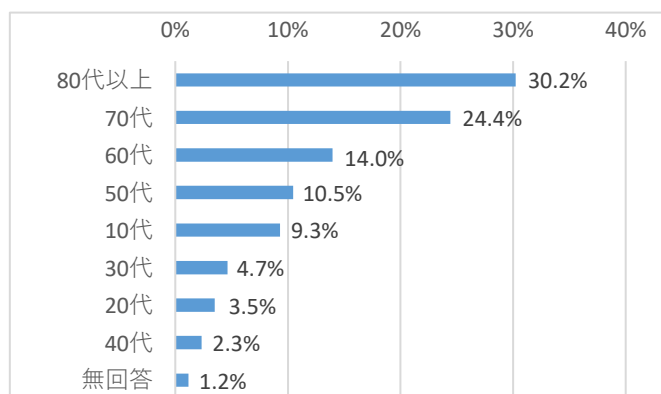
銀行等の窓口・ATMでの振込



スマートフォン決済・QRコード決済



決済サービスは利用していない

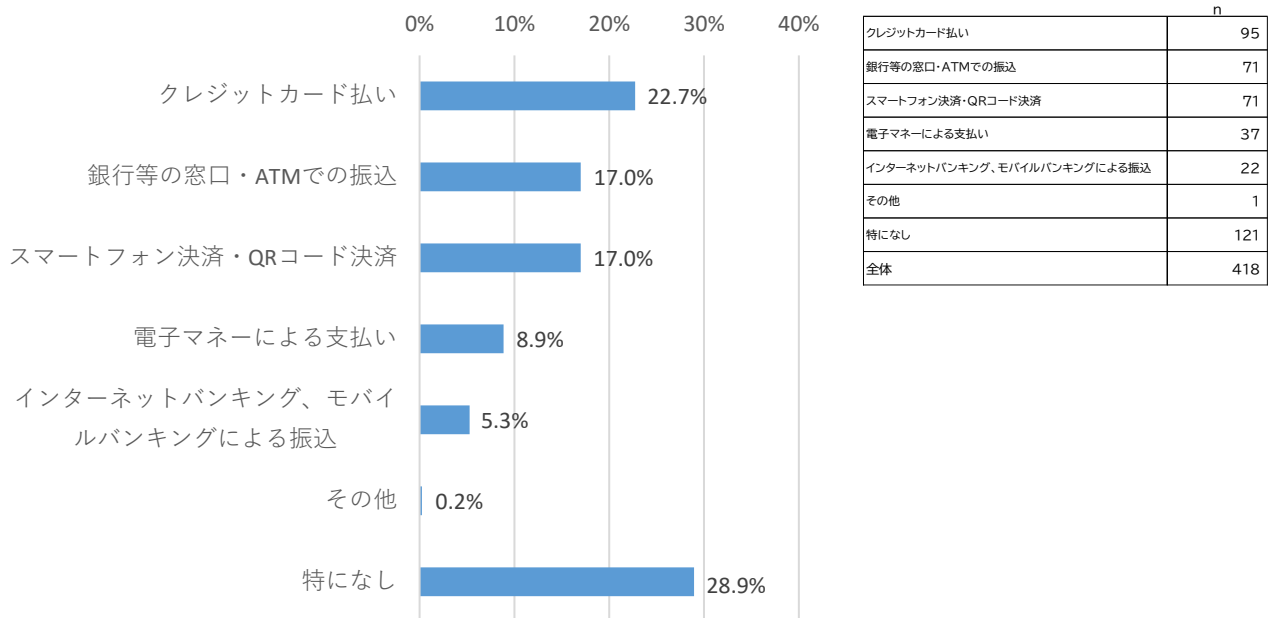


**【問25】今後、市税や手数料などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスはどれですか。(複数回答可)**

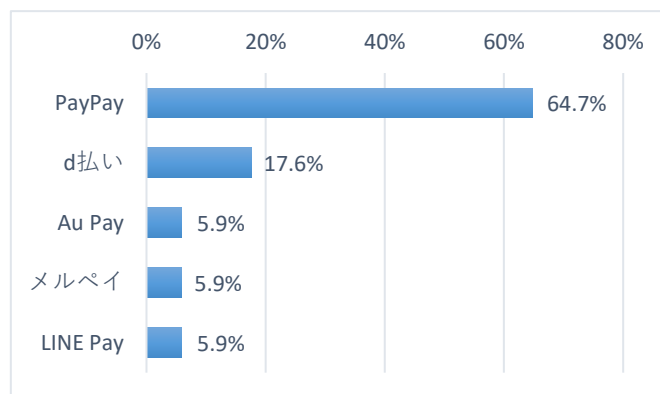
今後、市税や手数料などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスは、「特になし」が最も多く、次いで「クレジットカード払い」が多くなっています。

「スマートフォン決済・QRコード決済」の具体的なサービス名について【問24】と同様、「PayPay」「d払い」が上位を占めました。

「その他」としては、「現在の支払い方法のままでよい(銀行等の自動振替)」「PayPay」「各種決済サービスに対応していただきたい」といった回答がありました。

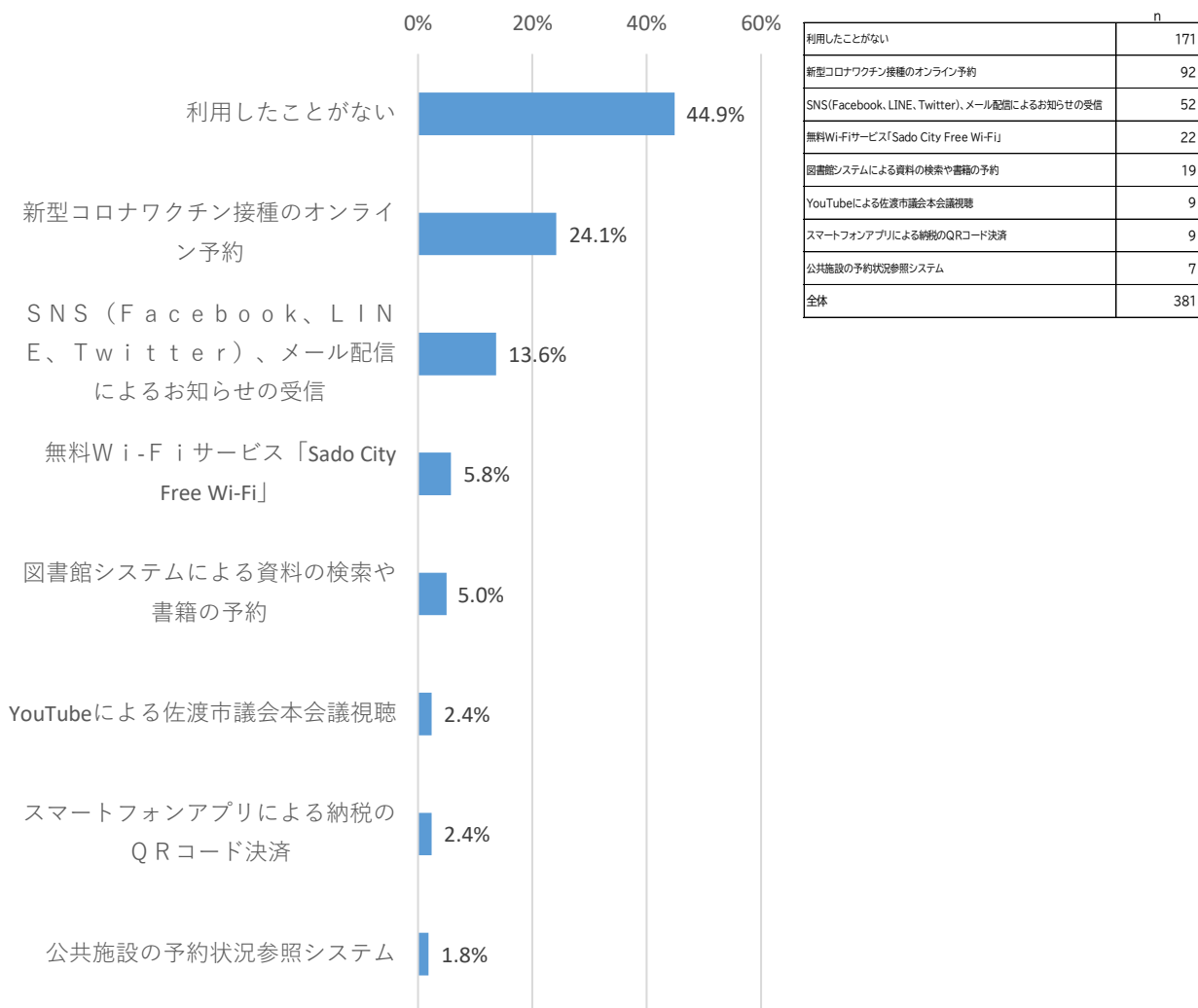


**<スマートフォン決済・QRコード決済の具体的なサービス名>**



**【問26】市が既に行っているデジタル化サービスを利用したことはありますか。  
(複数回答可)**

市が既に行っているデジタル化サービスの利用については、「利用したことがない」が最も多く、次いで、「新型コロナワクチン接種のオンライン予約」が多くなっています。



**<利用したことがない理由>※一部抜粋**

- デジタル化サービスの意味がわからない。
- 高齢のため難しいことはわからない。使い方がわからない。
- 現在の時代にはついていけない。
- 通信機器をもっていない。「デジタル化サービスを利用」する環境が整備されていない。
- スマートフォンを持っているが、情報流出があるのでと不安で利用した事がない。
- コロナワクチンの予約は電話で気軽にできるのでオンラインは利用しなかった。今後は利用してみたいと思う。
- 特に利用する必要がなかったから。
- パソコンも携帯電話も持っていないから。

※ ご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。

**【問27】デジタル化の有無にかかわらず、身近で解決してほしいことはありますか。  
(自由記載)**

**【地域・コミュニティ等に関すること】**

- 行事や催し物が未だ旧市町村単位で行っているという実情。市全体での盛り上がりには欠けているように思う。
- 高齢化で地域の草刈りや道普請など大変である。斜面の草刈りは危険を伴い困難であるため、危険箇所だけでも市の方で対応いただければ、佐渡全体の景観もよくなるのではないか。  
今後の世界遺産登録に向けても重要なのではと考える。
- 部落の行事で人手が足りていないので佐渡市として人的支援を考えてほしい。

**【環境等に関すること】**

- 野焼き、物を燃やす人が多すぎる。市役所に通報したら注意するようにしていただきたい。
- 野焼きについて、再三広報等で禁止を促しているが、未だに守られていないようである。さらなる周知を。
- 最近空き地に黄色い花が咲いており、繁殖力が強く困っている。
- 公道に広がる草木を整備してほしい。子どもたちの安全のため情報収集してほしい。
- 空き家や雑草など通学時に危険と感じる。
- 歩道、公道(特に空き家の隣接部分)の除草が必要。観光客にもマイナスイメージを与えていると思う。
- 日々職場周辺のゴミ拾いをしているが、いつも同じ人が同じゴミを捨てている感じがする。  
また、タイヤ・バイクのバッテリーなども落ちていますが、拾えないゴミや引き取ってもらえないゴミについては市へ連絡すると片づけていただけるのか。クリーンなSADOになるとよい。
- 市営住宅に住んでいる人のゴミ捨てのマナーが悪すぎ、とても困っている。

**【防犯等に関すること】**

- 夜道が暗い。
- 街灯が少なく暗い。歩道が狭いまたはほぼ無い。
- 通学路の整備や安全点検は行ってくれているのか気がかりである。  
整備・点検結果について報告いただけたなら、より安心できる。

**【防災無線等に関すること】**

- 強風の日の夜、防災無線なのか消防署のアナウンスなのか分からない程度の音量で外から何か聞こえた。  
風の音で聞き取れないため窓を開けたが聞き取れないまま終了してしまった。  
数年前には津波の避難放送もあったため、「今の情報は何を伝えたかったんだろう」と不安で眠れなかった。  
佐渡市の公式LINEで火災情報や避難情報をいち早く届くようにしていただきたい。
- 防災無線機器でもっと行政のことを知らせてほしい。

**【道路・交通等に関すること】**

- バス路線から離れた地域に住む、運転免許のない家族(健康だが一人暮らし)の買い物や病院の受診が大変である。
- 島民割引とはいえ、佐渡汽船の運賃が日々高くなっているのが不満。  
時間が短縮されるというなら話はわかるが、お金ばかり高くなるのはいかがなものか。  
若い人は帰ってこないはずである。
- 佐渡高校の坂道前の道路をもう少しスムーズに車が走れるようにしてほしい。  
信号が青に変わっても、道路が狭くて対向車とすれ違うことができず進めないことがある。
- 石田川の川沿いの道が舗装されておらず、通行量もあり、道が悪く危険と感じる。  
ガードレールもないため、何かしらの対策をしてくださると近隣住民としてはたいへんありがたい。
- 道路の凍結時、早期に塩をまくなりしてほしい。  
可能であれば朝といわず、凍結する気温に達した時点で素早くま対応に回っていただきたい。
- 具合が悪くても誰も頼る人がいない。  
病院に行くにも、ハイヤーや介護タクシーが高額のため、医療費より高く困っている。  
バス停までも遠くて歩けない。せめて送迎してくれる人がいればよい。

**【新型コロナウイルス感染症等に関すること】**

- 現在、市内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が公表されなくなり把握できない。  
感染予防はしているが感染原因や経路が不明なため、以前よりも危機感がないように思える。
- 佐渡市内の新型コロナウイルス感染症の感染者数を毎日発表していただきたい。そうでないと、今後も感染者が増え市民全員が滅亡してしまうと思う。デジタル化よりコロナ収束を第一に考えてほしい。



## 【子ども等に関すること】

- 公園・保育園に遊具の設置・整備をお願いしたい。子どもたちがのびのびと遊べる環境づくりをしてほしい。
- 子ども食堂がない。親が帰るまで一人で待つ子どもがどのくらいいるか把握しているのか。佐渡市は子どもたちをどのように考えているのか。発信をお願いする。
- 学校統廃合のスクールバス通学による肥満化と、友達との関係を築ける場所・場面の低下。

## 【高齢者・介護・福祉等に関すること】

- 80歳以上の人は嘱託職員を免除してほしい。  
何かしら提案しても、「そういうことは提案しなくてよい」と言われ、困っている。  
嘱託職員の主人も、耳が遠くなり会議に出てもよく聞き取れない言っている。
- 高齢の祖父母がおり、今は近くに家族が住んでいるので安心だが見守りサービスなどを強化していただけるとこの先ありがたいと思う。
- 老人の一人暮らしの安否確認は希望された方のみしか実施されないのか。  
部落が高齢化しており、昔のように家から出て会話をする場面が見られなくなっている。
- 精神障がいのため、別に住んでいる母親が毎日身の回りの事や食事の世話をしてくれているが、母が亡くなったあと、誰を頼ればいいのか不安がある。

## 【情報発信等について】

- 若い人向けの佐渡のお店や人、イベントなどのまとめサイトがあるとおもしろいと思う。  
「MERY」「LEMON8」のような地域メディアがあれば、住んでいる人だけでなく、観光客も行く場所を探す参考になると思う。
- 無料Wi-Fiの接続が重い。  
おしゃれなカフェがたくさんあり友人にも佐渡へ来てほしいが、情報を得にくい。  
Googleの検索結果もまれに間違えている。まとめサイトがあれば外国人の方も安心して来島できる。
- 佐渡市のHPが見づらい。ページも中途半端。早急に改善していただきたい。SNSの使い方が下手。

## 【市職員等について】

- 全員ではないが市役所職員の態度が悪い。  
窓口でもこちらが声をかけるまで見向きもしなかったり、見えているのに誰も来なかったりする。  
お昼頃、休憩中の職員がデスクで昼食をとりながら、ちらっとこちらを見てスルーするなどかなり頻繁である。  
市役所は市の顔だと思う。佐渡市在住の人はそういう雰囲気慣れてしまい気にも留めないかもしれないが、最近に移住してこられる方も多し中、必ず手続きに訪れる市役所で悪い印象を持たれるのはもったいない。
- 身近に市職員の方がいるが、夜遅くまで残業をしている。  
その方の職場には早くに終業して帰宅する人もいるようなのでとても不憫に思う。  
業務量の管理や職員の人員配置など適切になされているのか疑問に思う。

## 【上記以外について】

- 空き家対策。貸主、借主をマッチングさせる。
- 若者の流出
- 職場の人材不足
- 物価高騰による家計への圧迫を解決してほしい。
- 本土に比べて食品の値段が高い。
- 仕事がない。島に来なければよかった。
- 地元の間には関係ない佐渡市のイベントは無駄である。サドテレビを観て初めて知ったイベント等が多すぎる。
- 携帯電話の電波が悪い。
- 雪が降り、竹や木が雪の重みで道をふさいだりすると、高齢者のみの世帯もあり、手入れ出来なかったりする。  
デジタル化もよいが、人の手を使わなければならないこと(伐採や草刈り)にも補助金を使えるようにしていただきたい。また、その周知も徹底していただきたい。  
佐渡には自宅にこもっている働き盛りの方が多々いると聞きくが、そんな人の力を引き出せたらよい。

## 【デジタル化等に関すること】

- コンビニエンスストアで行政サービスができるようにしてほしい。
- デジタル機器、ソフトウェアを使いこなせる人がいないこと。
- 税関係の書類など平日にいちいち窓口に行かなければならないのはとても不便なので、オンラインで入手できるようにしていただきたい。こういったアンケートや保育料の還付請求書なども紙でなくてもよいと思う。
- 土日祝祭日でも住民票など発行できるようにしてほしい。
- デジタル化はお断りする。
- デジタル化が進むと高齢者は利用の仕方がわからず、格差が生じると共に社会に置いて行かれるのではと不安でならない。
- 高齢(89歳)のため質問事項が理解できないため、申し訳ないがお返しさせていただきたい。
- 個人情報をデジタルに一本化することはやめてほしい。
- マイナンバーカードの申請について、同居家族(高齢者や認知症の方)への対応を今後どのようにしていくのか。
- マイナンバーカードについて、色々なことが利用できるメリットばかりが言われているが、紛失した時の不安が大きく、その時はどう対処すればよいのか知らせてほしい。また、デメリットもしっかり説明してほしい。
- デジタル決済では情報がウイルスで漏えいしたり騙し取られたり、トラブル発生時の対処の仕方がわからずとても不安である。最近、鉄道、通信、銀行、病院障害が多く発生しているのは間違いなく「サイバー攻撃」によるものとする。日本のサイバー対策は他国よりかなり劣っているため、早期に万全な体制を整えていただきたい。
- この先はオンラインの時代。各家に1台オンライン用の端末を用意していただきたい。
- スマホやパソコンを持っていない人は多くいる。特に高齢者世帯。  
大きな格差をどうするか真剣に検討していただきたい。デジタル弱者を見捨てず、温かく見守る行政を願いたい。

※ 自由記載のご意見は、意味を損なわないようにしながら字句修正等しています。